

さんしん

ディスクロージャー

2018

三島信用金庫の現況
平成29年度 事業のご報告
(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

さんしんは地域のベストパートナー



Contents

- 理事長ごあいさつ ————— 2
- 地域を元気に ————— 3
 - 地域の未来を担う、子どもたちのために — 5
 - 豊かさにとぎわいのある地域づくり — 6
 - 安心できる地域のために ————— 6
- お客さまとともに[事業者の皆さま] — 7
 - 企業サポートサービス・企業支援の実績 — 9
- お客さまとともに[個人の皆さま] — 11
 - さんしんライフサポート ————— 13
- より良いサービスのために ————— 15
 - 人にやさしい店舗づくり ————— 16
 - 働きがいのある職場づくり ————— 17
 - インターネットバンキングで不正被害に遭わないために ————— 18
- 平成29年度 業績ハイライト ————— 19
- 平成29年度 業績の概要 ————— 21
- 商品・サービスのご案内 ————— 23
- 店舗・ATMのご案内 ————— 27
- 組織と概要 ————— 29
- さんしんのあゆみ ————— 30
- お客さま保護方針 ————— 31
- 総代会 ————— 33
- 内部管理態勢 ————— 35
 - コーポレートガバナンス ————— 35
 - 統合的リスク管理態勢 ————— 35
 - コンプライアンス態勢 ————— 37
 - 内部監査態勢 ————— 37
- 開示項目索引 ————— 38

本誌は信用金庫法第89条(銀行法第21条準用)に基づいて作成したディスクロージャー資料です。
 本誌に記載の比率および金額は原則として単位未満を切り捨てて表示しています。
 本誌には、将来の業績および財政状態に関する内容が記載されています。これらの記述は、当金庫を取り巻く経営環境などにより、異なる結果となることもあります。予めご承知おきください。

ごあいさつ

皆さまにおかれましては、平素より三島信用金庫に格別のご支援とご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

本年も当金庫の経営内容や活動状況を取りまとめたディスクロージャー誌「三島信用金庫の現況」を作成いたしました。ご高覧いただき、当金庫に対するご理解をより一層深めていただければ幸いに存じます。

日本経済は緩やかな回復を続け、今後も雇用所得環境が改善する中で引き続き堅調な展開が予想される所です。静岡県東部伊豆地域につきましても、少子高齢化、人口減少等の構造的な問題は抱えているものの多くのプラス材料があります。2020年東京オリンピック・パラリンピック自転車競技の伊豆市での開催、伊豆半島ジオパークの世界認定、それらに伴う周辺整備事業、伊豆縦貫道の延伸等多くの大型プロジェクトが進行しております。これらプロジェクトや関連事業に積極的に関わるとともに、地域やお客さまに寄り添い、協同組織の地域金融機関としての機能を今以上に発揮できるよう力を尽くしてまいります。

平成29年度は中期経営計画「地域創生のお手伝い」の最終年度として、地域とのつながりを強化し、お客さま、地域、金庫がともに発展できるよう地域経済の活性化に向けて様々な施策を講じてきました。きめ細かな営業活動やコンサルティング機能の発揮のほか、地方創生に関する各市町の取り組みへの参画など、地域や地域のお客さまとより強固な絆を構築するべく努めてまいりました。その結果、平成29年度決算におきましても健全経営を維持できる適正な収益を確保することができました。これもひとえに、皆さまのお力添えの賜物と深く感謝しております。

平成30年度は「地域のベストパートナー」をテーマとした新中期経営計画の初年度になります。「地域力の強化」「人財力の強化」「均衡力(バランス力)の強化」を三本柱として、今後も地域やお客さまのニーズにより広くお応えできるよう役員一丸となって業務に邁進いたします。今後とも一層のご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年7月

理事長

平井 敏雄

経営理念

共存同栄

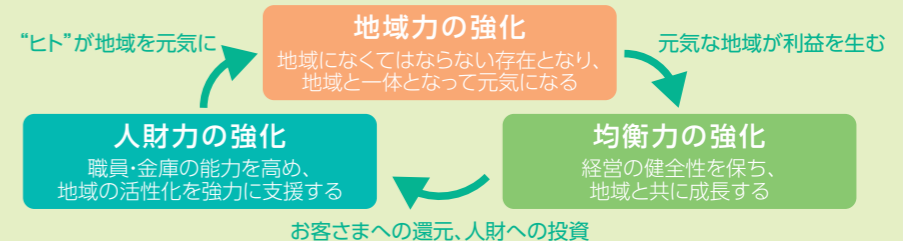
顧客・地域、金庫そして従業員が同じように栄えることを願って「共存同栄」を経営理念としています。

基本方針

1. 地域の発展と顧客の繁栄に貢献する
1. 健全経営によりたゆまぬ成長を図る
1. 働きがいとゆとりある職場をつくる

2018年度～2020年度 新中期経営計画スタート

三島信用金庫は2018年度より中期経営計画をスタートしました。「地域のベストパートナー」をテーマとし、地域力の強化・人財力の強化・均衡力の強化を重点戦略に、経営理念である「共存同栄」を実現してまいります。





地域を元気に

静岡県東部・伊豆の地域全体を活性化し、新たな未来を創造するためのさまざまな取り組みを積極的に推進しています。

伊豆への観光旅行誘致

信用金庫業界のつながりを活用し、県内外の信用金庫が主催する年金受給者等の旅行先として、伊豆半島への観光旅行を誘致するPR活動を展開してきました。愛知県の豊田信用金庫のお客さま約3,800名をはじめ、東京都の城南信用金庫、静岡県の静岡信用金庫のご旅行も受け入れられました。



伊豆半島ジオパーク推進協議会から活動功労賞授与

伊豆半島ジオパーク世界認定を応援するキャンペーン定期預金や広報活動を実施してきました。この活動に対し、「伊豆半島ユネスコ世界ジオパーク認定祝賀の集い」で伊豆半島ジオパーク推進協議会から「活動功労賞」を授与されました。



三信福祉協会「社会福祉活動助成金」

三信福祉協会は、地域の障がい児や障がい者をサポートする取り組みを行っている31の団体を対象として、それぞれの活動内容に応じて最大17.5万円の助成金(合計499.3万円)を贈呈するなど、地域の福祉環境の向上と充実を支援しています。

※三信福祉協会とは：社会福祉法人 三信福祉協会は、昭和37年三島信用金庫の創立50周年記念事業として、地域の社会福祉活動に貢献することを目的に設立されました。

高校ボランティア活動への助成

三信福祉協会では、地域の高校が実施している緑化活動や福祉施設でのボランティア活動等をバックアップするため、地域の12校に対して各10万円の活動資金を助成しました。

夢企業大賞

地域の活力ある事業者を応援するさんしんの代表的な取り組み「夢企業大賞」を平成29年度も開催しました。以下の11の企業・団体が各賞を受賞し、10月27日に表彰式を行いました。



平成29年度 第7回 夢企業大賞 各賞受賞者

ものづくり部門 最優秀賞

東洋電産 株式会社

事業テーマ

業界初! 災害時に役立つ「移動式EV充電車兼非常用電源車」の開発
被災地での電源不足や電気自動車の電欠を解消するために、長年培ったNMG発電システムのノウハウを活かして超小型大容量発電機を搭載した非常用車両を開発されました。



サービス革新部門 最優秀賞

株式会社 アイティエス

事業テーマ

捨てられる植物から地域独自の紙「うぶすな紙」を再生
地元で育った植物の廃棄されていた部分に注目し、この素材を再資源化した「地域独自の紙」を生み出すことで、廃棄物の削減と地域文化の誕生を両立されました。



ルーキー部門 最優秀賞

KS設計工業 小柴重喜

事業テーマ

現場の声が活かされた、車椅子のブレーキ革命
「医看工連携・ミシマ」の会員としての活動を通じて、事故を防ぎ介護の負担を軽減する画期的な車椅子用ブレーキを開発。介護現場の介護士の方々のリアルな声に応えました。



特別賞

株式会社ドリブルジャパン・株式会社光徳

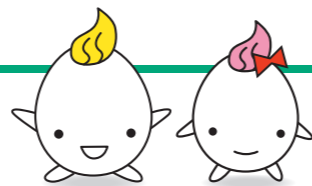
優秀賞

株式会社ビデオ・テック・バイオコック技研株式会社
深澤電工株式会社・三丸機械工業株式会社
特定非営利活動法人リベラヒューマンサポート
日本パワーテクノ 山本和則

「まち・ひと・しごと新聞」発行

地元企業の魅力を紹介する「まち・ひと・しごと新聞」第2号を発行しました。同新聞は高校生に地域への関心を高めってもらうことを目的に企画したもので、高校生が企業取材と記事執筆・新聞制作を行い、さんしんが印刷発行する取り組みです。今回は、葦山高校写真報道部、熱海高校報道部、日本大学三島高校新聞部の3校が参画しました。参画高校、取材企業数も増加した同新聞は、平成30年3月に静岡県東部地域局の協力を得て1万部発行し、さんしん各店舗や近隣自治体等を通じて広く配布されました。





地域の未来を担う、子どもたちのために

さんしんでは、地域に育つ青少年に学習やスポーツ、創作体験などの多彩な機会を提供し、さまざまな知識・経験を身につけることで、地域の将来を築き上げる、より豊かな人材の育成に力を注いでいます。

大学への講師派遣

大学での金融関連講座に、さんしん職員を講師として派遣し、実際の現場での経験を通じた「生きた知識と経験」を伝えています。

職業講話の実施

地域の学校に職員が赴き、子どもたちの職業観の育成や男女共同参画への意識向上、信用金庫の役割の理解などを目的とした職業講話を行っています。



信用金庫見学会

桜サク支店を会場として、子どもが職場を見学する「信用金庫見学会」を開催しています。参加した子どもたちは、通帳の作り方を学んだり、1億円分のケースを持ち上げてその重さを実感するなどの楽しい体験を通じて、信用金庫の仕組みやその仕事への理解を深めました。



高校生の企業研究

平成20年度から伊豆総合高校生を対象とした企業研究を行っています。既に20社で実施し、平成29年度は伊豆技研工業(株)、(株)日幸製作所、小林機械工業(株)を訪ね、地元の素晴らしい企業、ものづくりの楽しさ学びました。



みしまなりわい塾

「みしまなりわい塾」(主催:三島商工会議所)が、さんしん本店営業部で開催されました。地域の小学生に地元の仕事を体験してもらうことを目的として開催しています。参加した小学生は、クイズに答えたりお金の種類を学んだりしながら、信用金庫の業務を楽しく体験しました。



インターンシップの実施

学生に実際の仕事や職場を体験してもらうため、高校生・大学生・短大生を対象としたインターンシップ研修を行っています。



スポーツ大会への協賛活動

さんしんカップ少年サッカー大会、オール伊豆少年野球学童部大会など、各種スポーツ大会を実施・協賛しています。地域を担う子どもたちの健やかな成長を応援しています。



豊かさにとぎわいのある地域づくり

街のにぎわい創出のため、地域のお祭りやイベントにも参加しています。また美しい地域づくりのため、職員が清掃活動を積極的に行っています。



伊豆温泉花笠踊り



伊豆稲取金目マラソン



みしまサンパ



沼津ひものギネス挑戦



サポートライダー講習



サバーソニック&アジロックフェスティバル



伊東オレンジビーチマラソン



第49回三島成人式記念駅伝大会



伊豆トレイルジャーニー



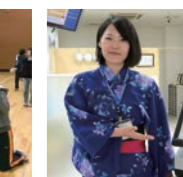
みしま花のまちフェア



ライド&ライド狩野川



秋季東部バレーボール選手権



浴衣営業

安心できる地域のために

さんしんではより高い安全性と信頼性の確立に尽力するとともに、優しさとふれあいに満ちた地域創造のため、各自治体や団体との協力のもと、さまざまな活動に幅広く取り組んでいます。

370万ピカッと作戦

交通事故総量削減県民運動の「歩行者の交通事故防止」を目的に、各所で反射キーホルダーを配布しました。



がん検診啓蒙活動

伊豆市と協力し、修善寺支店店頭で「がん検診受診率向上キャンペーン」を展開しました。



健康相談会

伊豆市・三島市・熱海市等の健康相談会場として、さんしんの店舗を活用いただきました。保健師が来店されるお客さまに健康測定や検診、禁煙などの健康効果をPRしました。



振り込め詐欺被害防止への取り組み

さんしんでは、増加する振り込め詐欺による被害を防止するため、「預手プラン」やチェックシートを活用して、シニアのお客さまへのお声かけを行っており、年金受給日に合わせて「振り込め詐欺防止活動」も展開しています。また昨年から被害防止の緊急対応として、70才以上のご高齢者に限り、ATMでの1日の現金引き出しを50万円までとする出金制限を実施しております。





お客さまとともに [事業者の皆さま]

地域の事業者の経営サポートのために、外部支援機関との提携や情報提供、商談機会の創出などを、幅広い視点で展開しています。

新現役交流会を開催

さんしんでは、企業OBなど長年培った知識・経験・ノウハウを有している方々を「新現役」という位置づけの新たな人材として注目しています。中小企業の皆さまの企業課題の一部が、この新現役の方々のアドバイスによって解決することを願って「新現役交流会」を開催しました。



ビジネスマッチング商談会を開催

食に関する展示商談・販売会の「富士山・東北道広域ビジネスマッチング「食&農」こだわりの逸品展示会2017」と、事前予約調整型個別商談会の「第8回富士山麓ビジネス商談会」を同時開催しました。展示商談・販売会には180の企業・団体が出展、個別商談会には288企業・団体が参加、延べ7,000名もの来場者でにぎわいました。



各種セミナー・見学会・相談会などの開催

- ◎エネルギーコスト削減セミナー
- ◎静岡県産業振興財団・静岡労働局セミナー
- ◎インバウンドビジネスセミナー
- ◎産学官金マッチングセミナー
- ◎補助金活用セミナー
- ◎観光事業者向けIT導入セミナー
- ◎企業人材育成セミナー・沼津テクノカレッジ見学会
- ◎ビジネスマナー研修



企業人材育成セミナー・沼津テクノカレッジ見学会

人材確保や育成支援のための「さんしん人材支援サービス」を開始

さんしんでは、関係機関との連携や企業人材育成セミナーなどの開催を通して、地域を元気にする人材の確保や育成支援を続けています。

平成30年6月には人材に関する課題解決をサポートするため、事業者さま向け人材支援サービスをはじめました。これは、お客さまとさんしんの外部連携先のマッチングを行うことで、「従業員採用」や「職場の環境づくり」につなげ「人材不足の解消」をめざすものです。求人の方や従業員のスキルアップなどの人材に関する課題について、お気軽にご相談ください。

人材支援サービスの仕組み

お客さまと当金庫の外部連携先のマッチングを行うことで、お客さまの課題解決につなげます。



人材支援サービスの流れ

- ①当金庫営業店にてご相談の受付
- ②当金庫から専門の外部連携先へ相談対応の依頼
- ③外部連携先よりサービス内容のご紹介



チャレンジクラブで、会員企業の見学など異業種交流を実施

明日の企業経営を担う若手経営者、役員、さんしん若手職員等、約150名をメンバーとする「さんしんチャレンジクラブ」を発足しました。会員同士がお互いを知り、相互交流の中からチャレンジ精神の醸成と経営に関する啓発をはかり、新たな価値を創造し、地域の発展および会員企業の繁栄に寄与することを目的としています。チャレンジクラブではセミナーや講演会など経営の啓発や新たな価値創造に役立つ催しの他、各支部ごとに会員の店舗や工場の見学会を開催し、有意義な経験を重ねています。



熱海・伊東・下田ブロック同友会 陣屋旅館見学ツアーの実施

旅館業を営むお客さまの生産性向上を図るため、さがみ信用金庫のお取引先への見学ツアーを実施しました。見学先は、IT導入によりV字回復したことで有名な「陣屋旅館」です。熱海・伊東・下田ブロックの同友会会員のお客さまが、女将の貴重な話を耳を傾けました。




お客さまとともに [事業者の皆さま]

企業サポートサービス

企業の成長ステップに合わせて、事業運営を適切にお手伝い。

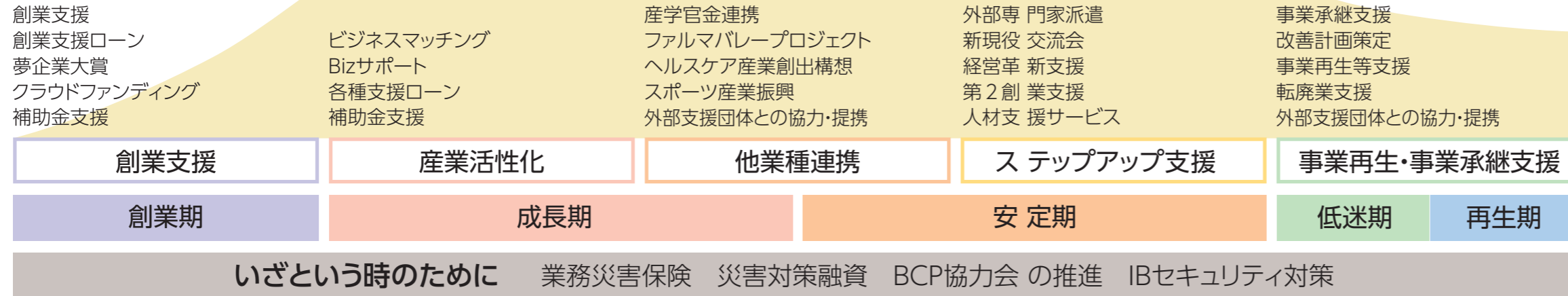
企業には創業から事業承継までの成長サイクルが存在します。さんしんはお客さまそれぞれの事業内容や将来展望、潜在リスクなど事業を取りまく環境を広く俯瞰し、最適化したご提案を通じて、企業の発展に寄与しています。



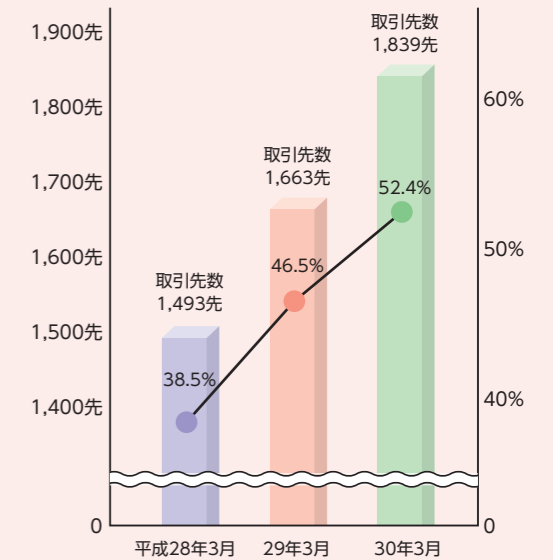
『未来計画ノート』は自己診断シートやチェックリスト、スケジュール立案フローなど役立つコンテンツが凝縮されています。ぜひご利用ください。

事業承継・事業譲渡までのステップをお手伝い 『未来計画ノート』を作成しました。

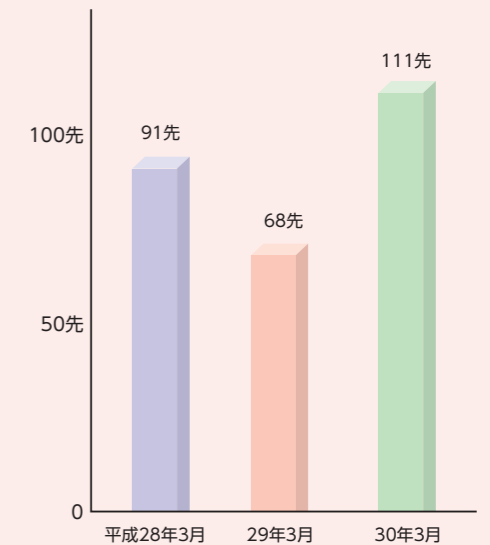
事業承継には10年以上かかるケースもあります。事業承継の準備を早めにスタートすることは、体制を早い段階から整えることができ、ベストのタイミングで事業承継が実行に移せるようになります。経営者の皆さまの明日をお手伝いするために生まれた『未来計画ノート』は自己診断シートやチェックリスト、スケジュール立案フローなど役立つコンテンツが凝縮されています。ぜひご利用ください。



■事業性評価に基づく融資を行っている先数および金融資産に対する割合



■当金庫が関与した創業、第二創業の先数



■販路開拓支援を行った先数

国内 **227**先 海外 **4**先

■事業承継支援先数

364先

■当金庫をメインバンクとして取引いただいている企業のうち、経営指標の改善や就業者数の増加が見られた先数及び同先に対する融資額の推移

	平成29年3月	平成30年3月
メイン先数	5,152先	4,904先
メイン先の融資残高	1,826億円	1,802億円
経営指標等が改善した先数	2,249先	2,149先

■当金庫が融資条件の変更を行っている中小企業の経営改善計画の進捗状況

	総数	好調先	順調先	不調先
平成30年3月	2,132先	104先	70先	1,958先

■法人取引先のライフステージ別と信先数・融資額

平成30年3月	全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
与信先数	3,512先	78先	166先	2,281先	114先	873先
融資残高	1,602億円	28億円	65億円	912億円	46億円	550億円

経営改善支援の取り組み実績 (平成29年4月～平成30年3月) (単位:先数)

	期初債務者数 A	うち経営改善支援取組先数 α	αのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 β	αのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数 γ	αのうち再生計画を策定している全ての先数 δ	経営改善支援取組率 α/A	ランクアップ率 β/α	再生計画策定率 δ/α
正常先①	6,702	69		69	69	1.0%		100.0%
要注意先	うちその他要注意先②	1,650	283	4	279	17.2%	1.4%	100.0%
	うち要管理先③	17	7	0	7	41.2%	0.0%	100.0%
	破綻懸念先④	567	278	8	270	49.0%	2.9%	100.0%
実質破綻先⑤	174	48	0	48	27.6%	0.0%	100.0%	
破綻先⑥	13	7	0	7	53.8%	0.0%	100.0%	
小計(②～⑥の計)	2,421	623	12	611	25.7%	1.9%	100.0%	
合計	9,123	692	12	680	7.6%	1.7%	100.0%	

お客さまとともに [個人の皆さま]

個人のお客さまが抱く、それぞれの年代の、それぞれのお悩みやお困りごとをお伺いし、課題に対する解決へのサポートを続けています。

さんしん年金友の会「ゆとり倶楽部」旅行を実施

さんしん年金友の会「ゆとり倶楽部」は昨年5月から6月にかけて、「東京湾ランチクルーズと粋な江戸まち再発見の旅」の日帰り旅行を催行し、5,472名の「年金友の会」のお客さまに楽しんでいただきました。

今年も5月から7月にかけて「～みなとみらいのシンボル ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテルで優雅なひとときを～ぶらり鎌倉散歩と横浜・八景島シーパラダイス」の日帰り旅行を催行しました。



さんしんのキャッシュカードがあれば、誰でも使えるスマートフォン用アプリケーション

三島信用金庫公式アプリ さんしん

スマートフォンのアプリをアプリストアからダウンロードしてご利用ください

iPhoneの方

またはApp Storeで「さんしん」と検索してください。

Androidの方

またはGoogle Playで「さんしん」と検索してください。

残高・入出金の確認

商品・手数料の確認

店舗・ATM検索

豊かなセカンドライフを応援する8つの安心 「さんしんシニアサポート」取扱いを開始

シニア世代の皆さまの多様なニーズにお応えするとともに、ご自身に必要なサービスを簡単に選択できるよう、さまざまな商品・サービスをパッケージ化した「さんしんシニアサポート」の取扱いを開始しました。資産運用・代理人支払・相続など、8つのメニューで、豊かなセカンドライフの実現を支援します。

手続きを他の人に頼みたい 代理人支払サービス

病気などでご本人が直接来店できない場合に、あらかじめ届け出た代理人の方がお手続きを代行できるサービスです。

成年後見制度について相談したい 成年後見制度 取次ぎサービス

財産管理などで不安を抱えているお客さまが、成年後見制度に関するご相談・お問い合わせができるよう、公益社団法人成年後見センター・リーガルサポートの会員司法書士へと取次ぎします。

後見人に財産を管理してほしい 成年後見制度向け預金

成年後見制度を安心、便利にご利用いただけます。生活資金を管理する「成年後見預金」と裁判所の指示のもと安全にお預けいただく「後見支援預金」をご用意しています。

ライフプランにあった 資産運用をしたい 資産運用相談サービス

国債・投信・保険など、資産運用に関するご相談を承っています。シニアの資産計画に詳しい専門職員が、お客さまの不安を安心に変えます。

年金を受け取りたい 年金友の会 ゆとり倶楽部

金利優遇やお誕生日プレゼント、日帰り旅行など、当金庫で年金をお受け取りいただくだけで、さまざまな特典をご提供します。

セカンドライフの資金を借りたい リバースモーゲージ

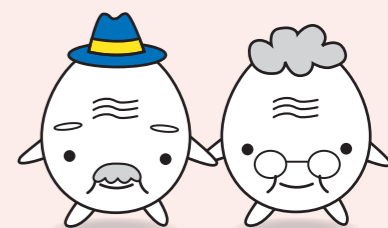
現在のお住まいを担保として、住宅のご購入や新築、リフォームの資金、また高齢者向け賃貸住宅の入居一時金をご融資します。

相続預金払戻し手続き方法 について知りたい 相続手続き支援

万一の時の相続預金の払戻し方法などについて、当金庫ホームページにわかりやすいご案内を掲載しています。はい、いいえの質問に答えるだけで、お客さまに必要な書類をご案内します。

日常のちょっとしたニーズに 応えてほしい 豊かな生活を支援する 便利なサービス

ご希望の外国紙幣をご自宅・お勤め先へお届けする「外貨宅配サービス」です。重要書類や有価証券などの貴重品を災害や盗難から守る「貸金庫サービス」など、生活の安心・快適のお手伝いをするサービスも充実しています。



藍澤証券と共同で「終活セミナー」開催

藍澤証券と共同で「終活セミナー」を11月22日に下田会場、11月29日に三島会場で開催しました。セミナーでは個別相談会、写真撮影会も行われ、両会場とも80名以上の参加者となりました。業態の異なる金融機関が共催してセミナーを開催するのは、静岡県で初となります。



さんしん インターネット定期預金

思ったつらすぐに。どこにいても。パソコン・スマホで定期預金をご契約いただけます。

※別途WEB/バンキングの契約が必要となります。

さんしん インターネット住宅ローン

ご来店することなく、24時間、365日、当金庫に口座がなくても、申込み用紙に記入することなく仮審査が可能。さらに便利になりました。



お客さまとともに [個人の皆さま]

さんしんライフサポート

お客さま一人ひとりの人生設計を
資金面からサポートします。

お客さまそれぞれに異なる人生のステップにマッチした、
ベストライフの実現をお手伝いしています。



さんしんアプリ



口座開設アプリ



いまはじめる資産形成 「つみたてNISA」

将来に向けて計画的に投資をする方を
応援する制度です。

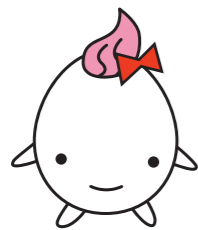
投資初心者の方をはじめ、幅広い年代の安定的資産形成をサポート
する、つみたてNISA。積立投資を使って、投資を行う時間がない方
でも、気軽に投資をはじめることができる仕組みになっています。

長期間の投資に
適した商品が対象

積立で毎月
コツコツ投資

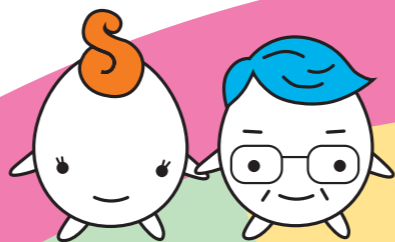
長期間保有

投資で得られた運用益・配当金は
20年間非課税



子育て支援定期積金

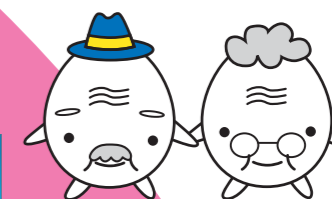
30代



投資信託 国債
保険 NISA

40代

50代



相続相談



相続定期預金「未来」



退職金専用定期預金「これから」



スーパー積金



20代



住宅ローン



住宅・リフォーム
ローン



教育カード
ローン



教育プラン



相続支援ローン



カーライフプラン



フリーローン「縁」・「優」・「禰」



福祉プラン



シニアライフローン

60代

ゆとり倶楽部 年金旅行
年金相談 お誕生日プレゼント
ゆとり積金「虹」
ゆとり預金「花100」



なつとく



ふゆとく



伊豆半島ジオパーク世界認定
おめでとう定期積金

住宅資金借換ローン「リリーフ エース」
省エネサポートローン

※ライフステージはイメージです。
※商品・サービスは一例です。
金利や優遇等の諸条件は変更になる場合がございます。
店頭またはさんしんホームページ等でご確認ください。

70代



より良いサービスのために

お客さまの利便性や快適性を常に向上させていくことは、私たちさんしんの最も大きな使命です。愛される信金をめざして、ダイバーシティ社会に即した多様なサービスや人材育成を推し進めています。

通帳デザイン変更

新しい通帳は、三島信用金庫の『三』をキービジュアルにしたボーダー柄のデザインです。

三本のライン上には〈自然・町並・海〉をテーマとした地域を象徴するイラストを描き、みゅうくん達と組み合わせました。まっすぐに伸びる三本のラインには、みゅうくんの名前の由来である『お客さま』・『さんしん』・『さんしんで働く人』の三つの夢『三夢』が結集し、明るい未来がどこまでも続くようにとの願いが込められています。



コミュニケーションボードの全店設置

視覚・聴覚や、運動機能などに障がいのあるお客さまへのサービス向上のため、平成30年1月に「コミュニケーションボード」を設置しました。コミュニケーションボードとは、耳の不自由な方、話し言葉や文字によるコミュニケーションに不安のあるお客さまのために、代表的な取引や手続きをデザイン化しわかりやすくしたもので、絵や文字を指しながら会話ができるボードです。



人にやさしい店舗づくり

店舗内のユニバーサルデザインや職員のサービスなど、多彩な工夫と取り組みを通じて、どなたにでもご利用しやすい店舗づくりを進めています。

ユニバーサルデザインの採用

- ◎ユニバーサルデザインを採用した通帳を作成
- ◎音声拡声器、ルーペ、杖ホルダー、筆談ボードを全店に配置
- ◎思いやり駐車場、点字ブロック、車椅子用スロープ、多目的トイレ、車椅子などを一部店舗に設置
- ◎音声ガイダンス・ハンドセット付ATM、触覚記号付ATMの設置
- ◎職員による代筆、代読



思いやり駐車場



多目的トイレ



車椅子用スロープ



音声拡声器



ルーペ



筆談ボード



杖ホルダー



すまいるカウンター



平成30年1月22日 「沼津香貫支店」新築オープン

店舗には顧客対話型端末「すまいるカウンター」が3台設置されているほか、障がいのあるお客さまへの配慮として、車椅子用のスロープや幅広のATM、視覚障がい者対応ATM、点字ブロック、思いやり駐車場なども設置しています。また多目的トイレや車椅子の方でも利用できる全自動貸金庫ブースなども完備し、皆さまに快適にご利用いただける空間となっております。



お客さまから店舗を模したケーキをいただきました。



近隣の沼津工業高校、沼津商業高校の学生による作品の展示も行っています。

働きがいのある職場づくり

さんしんは職員が意欲的に仕事に取り組めるよう、幅広い経験を通じた能力アップを図っています。職員一人ひとりがいきいきと働ける職場をつくることによって、お客さまへより質の高いサービスを提供し、地域社会に貢献できることをめざしています。

ダイバーシティの推進

さんしんでは平成23年4月にポジティブ・アクション推進室を設置し、女性の活躍推進に取り組んできました。平成28年4月からポジティブ・アクション推進室の発展形としてダイバーシティ推進課を新設し、理事長を先頭に性別・年齢・障がいの有無など多様な個性を持つ職員の能力を活かした人財育成を進め、ダイバーシティ推進への取り組みを行っています。

◎「女性活躍推進計画」
～仕事に、家庭に、全力投球！働きがいとゆとりある職場の実現～
(計画期間:5年)

- ◎主な取り組み
- ・すべての部門に男女をバランスよく配置する
 - ・女性管理職の数を現在の2倍以上にする
 - ・仕事と家庭責任を両立できる余裕ある職場を実現する
 - ・男女ともに、育児休業取得率を90%以上とする
 - ・嘱託、パートのキャリア形成を促進する



えるぼし認定

厚生労働省が、女性の活躍推進への取り組み状況が優良な企業に認定する「えるぼし認定」を取得しました。さんしんは、県内信用金庫として初の認定(2つ星)を受け、静岡労働局長より認定通知書を授与されました。



ワーク・ライフ・バランスの推進

さんしんは、静岡県の「男女共同参画社会づくり宣言事業所」となり、仕事と育児・家庭の両立ができる職場環境づくりと男性の育児参加促進に取り組んでいます。また、優良な「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣から「プラチナくるみん認定」を受けました。

- ◎主な取り組み
- ・配偶者出産休暇
 - ・短時間勤務制度(小学校3年生まで)
 - ・介護休業制度 対象家族1人につき通算180日
 - ・不妊治療目的による休職制度
 - ・育児・介護休業の10営業日有給

◎家族デー「子ども参観日」を実施
「ワーク・ライフ・バランス」の一環として、職員の子どもが職場訪問を通じ、お父さんお母さんがどのような仕事をしているのかを知ってもらう家族デー「子ども参観日」を実施しました。



三島信用金庫の特例子会社 さんしんハートフル株式会社

さんしんハートフルは、障がいのある社員が活躍しています。

平成24年9月に操業を開始し、平成30年7月1日現在では25名中18名の障がいのある社員が中心となり、各種データ処理、印刷・製本、販促品調製のほか、本部、営業店の環境美化の仕事で、いきいきと働いています。

また、特別支援学校の生徒や障がい者支援施設に在籍する方々などの職場体験実習の受け入れのほか、就労支援機関、団体、会社関係者の視察や、労働・福祉・教育関係者などに対するセミナー講師の派遣を通じて、雇用管理のノウハウを提供しています。



決算書などのリーディング業務



名刺や会議資料などの印刷・製本業務



建物の清掃・植栽管理などの環境美化業務



お客さまへのお願い

インターネットバンキングで不正被害に遭わないために

インターネットの利用に際しては、不正プログラムに感染する危険性が常にあります。端末が不正プログラムに感染すると、不正送金だけでなく、遠隔操作・情報漏えい等さまざまな被害に遭うおそれがあります。インターネットバンキングをより安全にご利用いただくため、以下の対策をお願いします。

◎ウィルスがお客さまの端末へ侵入することを防ぐための対策

- ①サポート期限が終了している基本ソフト等((例)WindowsXP)のご利用はお控えください。
- ②基本ソフトOS((例)Windows)ブラウザ((例)Internet Explorer)等は、常に最新の状態に更新してください。
- ③ウィルス対策ソフトを導入し、常に最新の状態に更新してください。
- ④当金庫より無料で提供するセキュリティ対策ソフトRapport(レポート)をインストールしてください。
- ⑤不審なメールの開封および不審なサイトの閲覧は控えてください。

＜実施することによる効果＞

更新情報にはセキュリティ対策に必要な修正プログラム等が含まれています。最新の状態に更新することで、日々新しく誕生するコンピュータウィルスの検知(駆除)の精度が高まります。

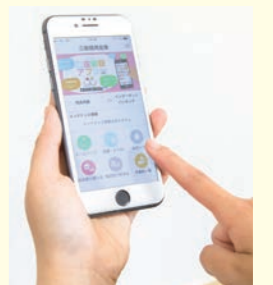
◎インターネットバンキングを安全にご利用いただくための対策

- ①ログインは電子証明書方式(法人IB)やセコムプレミアムネット(法人IB・個人IB)、またはワンタイムパスワード方式(法人IB・個人IB)をご利用ください。
- ②インターネットバンキングをご利用になる際には、ご利用前にセキュリティソフトでウィルスチェックを行い、ウィルス感染がないことをご確認の上でのご利用をお願いします。
- ③パスワードを定期的に変更してください。(推奨:1ヶ月に一度変更)パスワード入力時は「ソフトウェアキーボード」を推奨します。
- ④不審な「前回ログイン履歴」がないかログイン時に確認してください。(画面上に「前回ログイン履歴」を表示しております。)
- ⑤振り込みなどの限度額を必要な範囲で出来る限り低く設定してください。
- ⑥取引時の通知メールを直ちにご確認いただけるメールアドレスを登録してください。
- ⑦ID・パスワード等は、利用者以外に教えないでください。
- ⑧通常とは異なる画面が表示された場合、直ちに操作を中止し、当金庫までご連絡ください。

＜実施することによる効果＞

不正ログイン防止や不正送金被害の早期発見・防止に役立ちます。

※上記対策を講じていても完璧なセキュリティ対策が保証されたわけではありませんが安全性は向上します。
※金融犯罪の手口は日々変化しています。ここで紹介している内容や考え方、手順などは一例です。





平成29年度 業績の概要

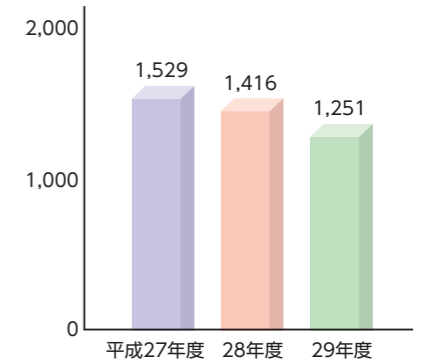
業績ハイライト

当期純利益

当期純利益は1,251百万円となりました。
詳しくは21～22ページをご覧ください。

12億51百万円

当期純利益 (単位: 百万円)

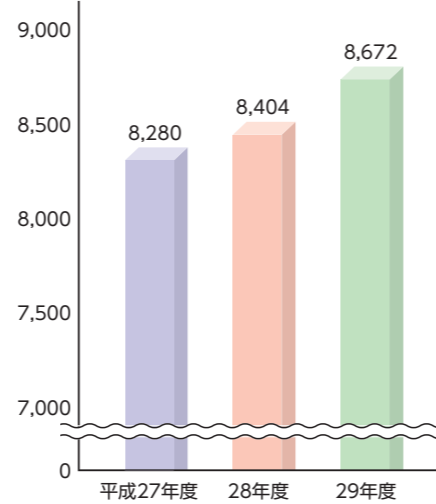


預金積金

預金積金の期末残高は8,672億円となりました。
詳しくは21～22ページをご覧ください。

8,672億円

預金積金 (単位: 億円)

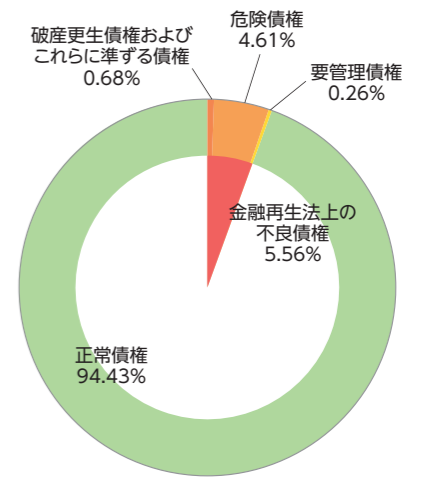


不良債権比率

不良債権比率は5.56%となりました。
詳しくは資料編9ページをご覧ください。

5.56%

不良債権比率 (単位: %)

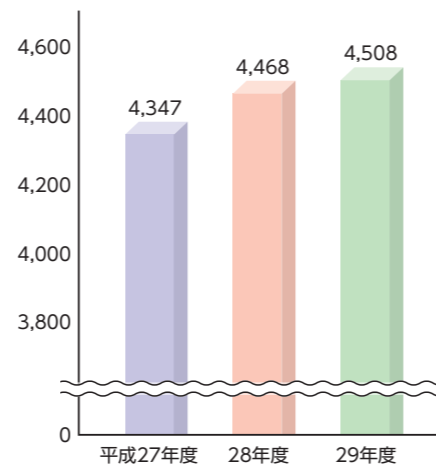


貸出金

貸出金の期末残高は4,508億円となりました。
詳しくは21～22ページをご覧ください。

4,508億円

貸出金 (単位: 億円)

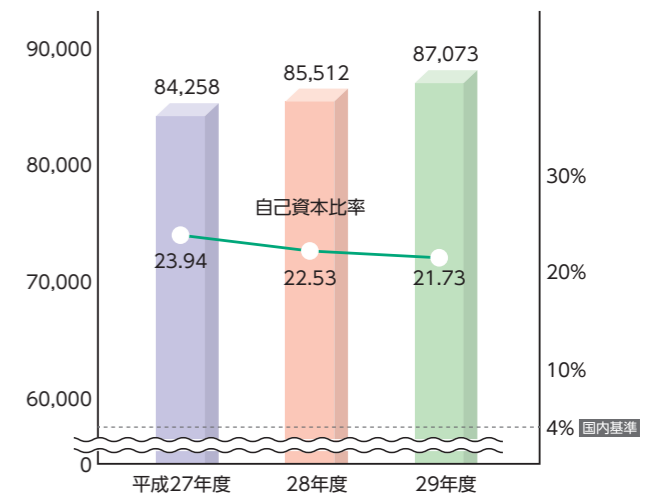


自己資本比率

自己資本比率は21.73%となりました。
詳しくは資料編16ページをご覧ください。

21.73%

自己資本の額 (単位: 百万円)
自己資本比率 (単位: %)



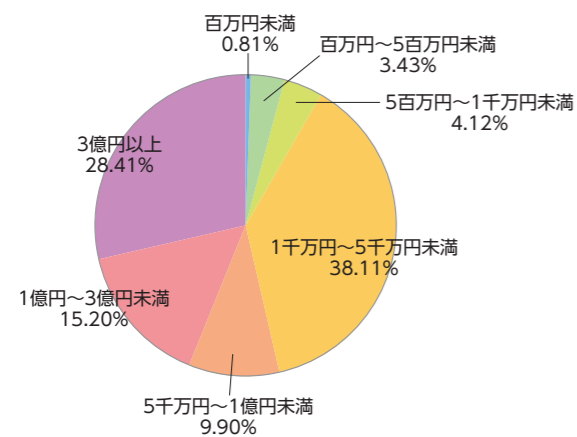
主要な業務の内容

1. 預金または定期積金の受入れ
2. 会員に対する資金の貸付け
3. 会員のためにする手形の割引
4. 法令の定めるところによる地方公共団体、金融機関その他会員以外の者に対する資金の貸付けおよび手形の割引
5. 為替取引
6. 上記1～5の業務に付随する債務の保証または手形の引き受けその他信用金庫業務に付随する業務
7. 国債、地方債、政府保証債その他の有価証券について金融商品取引法により信用金庫が営むことのできる業務（上記6により行う業務を除く。）
8. 担保付社債信託その他の法律により信用金庫が営むことのできる業務
9. その他前各号の業務に付帯または関連する業務

直近5事業年度における主要な事業の状況					
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
経常収益 (千円)	14,277,481	14,608,462	14,072,591	13,214,781	13,354,744
経常利益 (千円)	1,374,663	2,422,985	2,188,148	1,730,084	2,049,519
当期純利益 (千円)	1,811,137	2,030,634	1,529,020	1,416,563	1,251,264
出資総額 (百万円)	1,274	1,246	1,219	1,183	1,142
出資総口数 (千口)	12,742	12,465	12,190	11,838	11,425
純資産額 (百万円)	89,669	94,254	97,661	96,041	95,544
総資産額 (百万円)	908,092	930,401	943,667	951,069	976,203
預金積金残高 (百万円)	800,743	818,739	828,002	840,417	867,229
貸出金残高 (百万円)	420,980	425,082	434,720	446,896	450,856
有価証券残高 (百万円)	360,331	383,272	396,345	395,415	397,653
単体自己資本比率 (%)	23.43	24.13	23.94	22.53	21.73
出資配当金 (千円)	50,331	49,271	48,244	46,850	45,248
出資に対する配当金 (円) (出資1口当たり)	4	4	4	4	4
会員数 (人)	62,089	61,540	60,867	59,774	58,175
個人	53,738	53,235	52,601	51,916	50,462
法人	8,351	8,305	8,266	7,858	7,713
役員数 (人)	17	15	16	15	16
うち常勤役員数	11	10	10	9	10
職員数 (人)	802	772	753	751	740

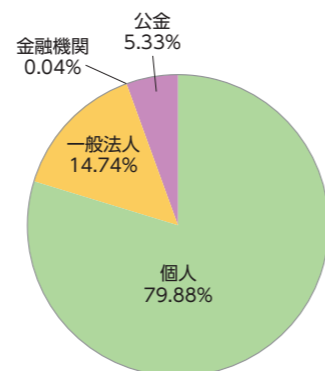
■ 貸出金の金額階層別残高構成比 (平成30年3月末現在)

貸出金残高 4,508億円



■ 預金積金の預金者別構成比 (平成30年3月末現在)

預金積金残高 8,672億円

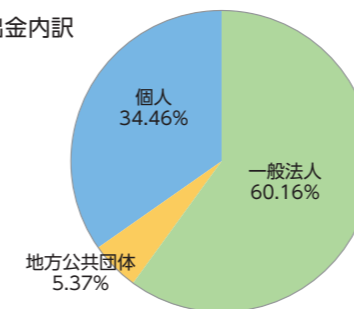


平成29年度の業績

貸出金業種別内訳			
平成29年度	先数 (先)	残高 (百万円)	残高構成比 (%)
製造業	943	36,907	8.18
農業・林業	63	1,204	0.26
漁業	21	733	0.16
鉱業、採石業、砂利採取業	2	3	0.00
建設業	1,702	30,671	6.80
電気・ガス・熱供給・水道業	33	1,310	0.29
情報通信業	47	1,540	0.34
運輸業、郵便業	130	9,579	2.12
卸売業、小売業	1,272	32,765	7.26
金融業、保険業	45	34,404	7.63
不動産業	1,045	65,143	14.44
物品賃貸業	20	404	0.08
学術研究、専門・技術サービス業	368	4,795	1.06
宿泊業	213	18,023	3.99
飲食業	522	7,222	1.60
生活関連サービス業、娯楽業	306	5,895	1.30
教育、学習支援業	12	2,215	0.49
医療、福祉	302	12,779	2.83
その他のサービス	338	5,651	1.25
小計	7,384	271,251	60.16
地方公共団体	18	24,228	5.37
個人(住宅・消費・納税資金等)	21,950	155,375	34.46
合計	29,352	450,856	100.00

(注)業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しています。

■ 貸出金内訳



経営の健全性・安全性

◎自己資本比率

平成29年度末の自己資本比率は、バーゼルⅢ(国内基準)で算出しており、前期比0.80ポイント減少し21.73%となりました。この数値は全国の金融機関の中でも有数の高い比率であり、国内で事業を営む金融機関に求められている4%を大きく上回っています。

◎不良債権

保有資産の自己査定と不良債権を適性に処理する償却引当を厳正に実施しています。同時に地域金融の円滑化に取り組むとともに、企業の事業再生と経営改善のための支援に取り組むことで不良債権の発生防止にも努めています。

当金庫の平成29年度末の不良債権(金融再生法ベース)は、前年度末と比べて118百万円減少し、25,323百万円となりました。この不良債権に対して、担保・保証等と貸し倒れに備えた引当金の合計額(保全額)は22,670百万円となり、不良債権の89.52%をカバーしています。さらに83,724百万円の特別積立金もあり、万全な保全体制を敷いています。なお、平成29年度の総与信に対する不良債権比率は前期比0.07ポイント減少し、5.56%となっています。

預金積金は、法人・個人事業主向けの預金推進や個人向けの「地域ブランド」定期預金推進等に取り組んだ結果、期末残高は8,672億円となり、前期比268億円、3.2%増加しました。

貸出金は、個人向けの住宅ローン・消費者ローンの推進や事業性評価による中小企業向け融資の取り組み等お客様のニーズに迅速にお応えした結果、期末残高は4,508億円となり、前期比39億円、0.9%増加しました。

収益面では、市場金利低下の影響から貸出金、有価証券および預け金の利回り低下により資金運用収益が11,255百万円と前期比163百万円の減収となりましたが、有価証券売却益等もあり、経常収益は13,354百万円と前期比139百万円の増加となりました。

費用面では、利回りの低下から預金金利が551百万円と前期比212百万円の減少に加え、経費削減努力により、経常費用は11,305百万円と前期比179百万円の減少となりました。

結果として、経常利益は2,049百万円と前期比319百万円の増益となりました。なお、特別損失として減損損失86百万円を計上しております。

以上により、税引前当期純利益は1,955百万円と前期比482百万円の増益となりましたが、法人税等調整額691百万円を計上した結果、当期純利益は1,251百万円と前期比165百万円の減益となりました。

預金業務

商品サービス内容				
種類	お預け入れ期間	お預け入れ金額	内容・特色	
総合口座	出し入れ自由	1円以上	一冊の通帳に普通預金、定期預金がセットされた個人(法律上の成年者)の方限定の口座です。必要ときには定期預金の90%、最高200万円まで自動的に融資がご利用いただけます。	
普通預金	出し入れ自由	1円以上	自由に出し入れでき、給与、年金のお受け取り、公共料金の自動支払など、日常のお財布代わりにご利用いただけます。	
無利息型普通預金(決済用預金)	出し入れ自由	1円以上	お利息はつきませんが、自由に出し入れでき、決済サービスの利用が可能です。預金保険制度により全額保護されます。	
さんしん後見支援預金	期間の定めなし	家庭裁判所の指示書に基づく	成年後見人が家庭裁判所の指示書に基づいて取引を行う事ができる預金です。	
貯蓄預金「サンクス」	出し入れ自由	1円以上	残高10万円以上の場合は、普通預金より高い利率となります。金利は残高に応じて高くなります。(段階別に金利設定をしています)	
通知預金	7日以上	5,000円以上	まとまった資金の短期間の運用に最適です。	
納税準備預金「タックス」	出金は原則として納税時のみ	1円以上	納税資金を計画的に準備していただく納税準備預金です。	
当座預金	出し入れ自由	1円以上	ご商売などのお取引に安全で効率的な小切手・手形がご利用できます。(無利息)	
定期預金	大口定期預金	1ヵ月以上5年以内	1,000万円以上	大口資金の運用に適した定期預金です。
	スーパー定期	1ヵ月以上5年以内	1,000円以上	まとまった資金の運用に適した定期預金です。
	変動金利定期預金	1年以上3年以内	1,000円以上	6ヵ月ごとに金利を見直す変動金利の定期預金です。複利型と単利型の2タイプがあります。
	インターネット定期預金	6ヵ月・1・3・5年	10万円以上 1,000万円未満	WEBバンキングを契約している個人・個人事業主の方を対象とした定期預金です。インターネットで契約・解約のお手続きができます。
財形貯蓄預金	ゆとり預金「花100」	1年	100万円以内	当金庫で年金をお受け取りの方を対象とした預金でスーパー定期の店頭表示金利に一定の金利を上乗せいたします。
	一般財形	3年以上 (一般財形) 5年以上 (財形年金・財形住宅)	1,000円以上	勤労者のための住宅取得資金や将来に備えた年金資金など財産形成預金です。給与・ボーナスから天引きされるため、確実に貯められます。
	財形年金			
定期積金	スーパー積金	6ヵ月・1・2・3・4・5年	1,000円以上	目標に向けて毎月一定額を積み立てていただきますので計画的に資金づくりができます。
	さんしん子育て支援定期積金	1・2・3・4・5年	毎月の掛込金額 1年17,000円以上 2年9,000円以上 3年6,000円以上 4年5,000円以上 5年4,000円以上	ご契約時点で、扶養する18歳未満のお子さまがいる個人のお客さまを対象にした子育て家庭専用の定期積金です。ご契約時のスーパー積金の店頭表示金利に一定の金利を上乗せいたします。
	ゆとり積金「虹」	1・2・3・4・5年	毎月の掛込金額 1年42,000円以上 2年21,000円以上 3年14,000円以上 4年11,000円以上 5年9,000円以上	当金庫で年金をお受け取りの方を対象にした優遇金利定期積金です。ご契約時の定期積金の店頭表示金利に一定の金利を上乗せいたします。
外貨預金	外貨普通預金	出し入れ自由	1米ドル以上	出し入れ自由な外貨建の預金でお利息も外貨となります。(為替変動リスクがあります)
	外貨定期預金	1ヵ月以上 6ヵ月以内	5,000米ドル以上	余裕資金の運用に適した外貨建の預金でお利息も外貨となります。(為替変動リスクがあります)

詳しい商品内容は、店頭へ備え付けの「商品概要説明書」をご覧ください。



融資業務

主なローン				
種類	内容・特色	ご融資限度額	ご融資期間	
住まいのローン	住宅ローン	住宅の新築、増改築、マンション・中古住宅の購入、住宅建築用土地購入資金、および住宅資金の借換等にご利用ください。	10,000万円	最長35年
	新9大疾病保障付住宅ローン	死亡・所定の高度障害状態および3大疾病(がん・急性心筋こうそく・脳卒中)の保障に加え、精神障害を除くすべてのケガ・疾病による就業不能状態を保障します。	10,000万円	最長35年
	無担保住宅リフォームローン	担保・保証人は原則不要。住宅の新築、マンション・中古住宅の購入、住宅資金の借換、リフォーム等、幅広く住宅資金にご利用ください。	2,000万円	最長25年
	リフォームローン	住宅の増改築、リフォーム資金にご利用ください。	1,000万円	最長15年
暮らしのローン	カーローン	自動車の購入、修理・車検費用およびその付帯費用等の資金にご利用ください。	1,000万円	最長10年
	教育ローン	入学金、授業料等の学校納付金および生活費等の資金にご利用ください。	1,000万円	最長16年
	フリーローン	お使いみちは自由です。(個人・個人事業主の方にご利用いただけます)	500万円	最長10年
	カードローン	お使いみちは自由です。(ただし、事業資金、転貸資金は除きます)	500万円	2年更新 3年更新

詳しい商品内容は、店頭へ備え付けの「商品概要説明書」をご覧ください。

事業者向け融資

種類	内容・特色	
一般の融資	割引手形	商業手形の迅速な資金化にご利用ください。
	手形貸付	短期の運転資金にご利用ください。
	証書貸付	長期の設備資金・運転資金にご利用ください。
	当座貸越	資金が必要なとき、ご契約の範囲内で反復利用できます。
事業者カードローン	専用カードを利用して事業資金のお借入れができます。	
各種制度融資	県や市町村の制度融資をお取扱しています。	
代理貸付	信金中央金庫、日本政策金融公庫などの融資をお取扱しています。	

詳しい商品内容や金利体系については、お気軽に窓口までお尋ねください。

為替業務

種類	内容・特色
内国為替業務	
振込・代金取立	全国の信用金庫、銀行など金融機関へ、振込、代金取立のお取扱いを行っています。
為替自動振込	お客さまの目的に応じて毎月一定日に口座から自動振込を行うサービスです。
ATM振込	ATMからキャッシュカードまたは現金により振込ができるサービスです。振込先を登録して振込カードを作成されると簡単に振込ができます。
外国為替業務	
外国為替	海外送金・輸出入等の外国為替のお取扱いをしています。



その他の業務

種類	内容・特色
信託業務	
信託契約代理業務	特定贈与信託・公益信託の代理および媒介をしています。
相談業務	
年金相談・税務相談 法律相談	当金庫では各種専門家をご紹介する等、相談に応じています。
サービス業務	
キャッシュカードサービス	カード1枚で、預金の入出金・残高照会など、当金庫の本支店でお取扱いできます。また、全国の提携金融機関などで、お引き出しができます。
ICキャッシュカードサービス	偽造や変造、不正な読み取りを困難にするICチップを埋め込み、セキュリティを一層強化させたキャッシュカードです。 ※平成24年4月より、キャッシュカードを新規・再発行されるお客さまには、ICキャッシュカードを発行させていただきます。
Pay-easy(ペイジー)取納サービス(マルチペイメント)	金融機関の窓口やコンビニ等で支払っていた税金や公共料金等をパソコン等からお支払いいただけるサービスです。
Pay-easy(ペイジー)口座振替受付サービス[個人]	提携企業の受付窓口にてキャッシュカードを使用して預金口座振替契約を締結するサービスです。「預金口座振替依頼書」の書類への記入・押印が不要です。
ネット口座振替受付サービス[個人]	預金口座振替契約を提携企業ホームページ上(パソコン等)で締結するサービスです。「預金口座振替依頼書」の書類への記入・押印が不要です。
デビットカードサービス	加盟している小売店等でお買い物をされる際、キャッシュカードを使ってお客さまの口座から即座に支払いができるサービスです。
給与振込サービス	毎月のお給料やボーナスが、支給日にお勤め先よりお客さまの口座に振り込まれます。
年金自動受取サービス	各種年金のお受取日に、お客さまの口座へ自動的に年金を振り込みします。
口座振替サービス	公共料金や税金や授業料などの支払いをお客さまの指定の口座から自動的にお引き落としします。
HBサービス	HB専用端末や専用ソフトを利用して振込・残高照会や入出金明細照会等が行えるサービスです。
インターネットバンキング	インターネットの利用できるパソコンから給与振込・総合振込・都度振込・口座振替・残高照会や入出金明細照会等がご利用いただける法人向けのサービスです。
WEBバンキング	インターネットの利用できるパソコンやスマートフォン・携帯電話から振込・残高照会や入出金明細照会、定期預金・投資信託手続等がご利用いただける個人向けのサービスです。
外貨宅配サービス	外貨キャッシュをご指定の場所へ宅配し、代金引換にてお支払いいただく取次サービスです。インターネットやFAXからお申込みができます。
貸金庫	大切な財産を災害等から、安全確実に守りたくします。
夜間金庫	毎日の売上金を時間外にお預けいただけます。
でんさいサービス	「でんさい(電子記録債権)」による商品取引の資金決済等を行えるサービスです。
メールオーダーサービス	普通預金口座の開設や住所変更、公共料金口座振替申込が郵便でお手続きいただけます。

国債・投資信託の窓口販売業務

国債の窓口販売	個人向け国債(固定3年、固定5年、変動10年)、中期利付国債(2年、5年)、長期利付国債(10年)の販売を行っています。
投資信託の窓口販売	お客さまお一人おひとりに資産運用をご提案するため、多彩な商品を取り揃えています。平成30年1月から、つみたてNISAのお取扱いをしています。

保険業務

生命保険	終身保険(一時払型)	大切な家族のための保障が一生続く保険商品です。相続準備や計画的な資産形成に適しています。
	がん保険	がんと診断された時やがん入院された時などに、安心してがんと闘うために必要な経済的備えとなる保険です。
	医療保険	病気やケガで入院された時の入院給付や入院前後の通院も保障する保険です。
損害保険	火災保険	住宅ローンをご利用のお客さまに、幅広い補償内容の「住宅火災保険」(しんきんグッドすまいる)を取扱っています。
	債務返済支援保険	病気やケガで働けなくなった期間の返済をサポートします。住宅ローンをご利用されるお客さまに安心をお届けする「債務返済支援保険」(しんきんグッドサポート)を取扱っています。
傷害保険	業務災害	業務災害が発生した場合の従業員に対する事業者の補償責任をカバーする保険です。しんきんの傷害保険「ビジネスプラン」を取扱っています。

(注) 1. 保険商品は預金ではありません(預金保険の対象外です)。また、解約返戻金や保険金が払込保険料の合計額を下回る場合があります。
2. 保険契約を引き受け、保険金等をお支払いするのは保険会社となります。また、引渡保険会社の業務もしくは財産の状況の変化によっては、ご契約時の保険金等が減額される場合があります。
3. ご検討にあたっては、「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)」商品パンフレット等を必ずご覧ください。

主な手数料

(平成30年6月30日現在)
※手数料には消費税が含まれています。

手形・小切手交付手数料

項目	内容	手数料
小切手帳	1冊(50枚綴り)	648円
約束手形帳	1冊(50枚綴り)	864円
為替手形帳	1冊(25枚綴り)	432円
署名版登録	登録	3,240円
	変更	1,080円
専用当座口開設	1件	3,240円

振込手数料

種類		振込金額		給与・賞与振込
		3万円未満	3万円以上	
窓口※1	当金庫 本店	108円	324円	無料
	当金庫 本支店	216円	432円	無料
	他行庫	648円	864円	432円
ATM	当金庫 本店	無料	無料	—
	当金庫 本支店	108円	324円	—
	他行庫	432円	648円	—
WEB-FB	当金庫 本店	無料	無料	無料
	当金庫 本支店	108円	108円	無料
	他行庫	324円	432円	216円
WEBバンキング	当金庫 本店	無料	無料	—
	当金庫 本支店	108円	108円	—
	他行庫	216円	324円	—
ホームバンキング(HB)	当金庫 本店	無料	無料	—
	当金庫 本支店	108円	324円	—
	他行庫	540円	756円	—
為替自動送金	当金庫 本店	108円	216円	—
	当金庫 本支店	108円	216円	—
	他行庫	432円	648円	—
フロッピーディスクデータ伝送(FD)	当金庫 本店	108円	324円	無料
	当金庫 本支店	216円	432円	無料
	他行庫	648円	864円	432円
文書振込	当金庫 本店	—	—	—
	当金庫 本支店	—	—	—
	他行庫	648円	864円	—
地区外公金等振込	県内および一部地域※2	無料		—
	その他	540円		—
振込組戻	電文発信前	324円		—
	電文発信後	864円		—

※1 FAX-OCR(単票・連記式)紙票を含みます。
※2 県内および神奈川県東下郡湯河原町は無料です。

手形・小切手等の取立

	手数料
当金庫本支店あて	無料 (即日入金できないもの 1枚につき216円) 本店(当店券)・本支店のものでも、即日入金できず預かる場合は1枚につき 216円
他金融機関あて	・1枚につき……………864円 ・個別取立(郵送料含む)……………864円 ・静岡手形交換所加盟金融機関あて……………無料 (即日入金できないもの 1枚につき216円)

その他手数料

項目	内容	手数料(月額)	
ホームバンキング(HB)	基本手数料	540円	
	ID・パスワード方式	WEB-FB WEB-FB(都度振込のみ)	1,080円 540円
インターネットバンキング	①電子証明書方式	WEB-FB	2,160円
	②セコムプレミアムネット	WEB-FB(都度振込のみ)	1,620円
でんさいサービス	基本手数料	無料	
	WEB利用の場合 窓口受付の場合	無料 無料	

融資関連手数料

項目	内容	手数料
住宅ローン繰上返済		10,800円
消費者(無担保)ローン繰上返済	一部・全部繰上返済	3,240円
住宅ローン事務	しんきん保証住宅ローン	54,000円
	プラチナホーム・ドリームハウス	54,000円
	フラット35	54,000円
(根)抵当権新規設定(住宅ローンを除く)	設定額 1億円未満 1億円以上	32,400円 54,000円
担保変更事務手数料(一部解除・全部解除を除く)	1件につき	21,600円
条件変更手数料(代理貸付・金利変更含む)	事業性融資 ※複数回1回につき(同月受付基準)	32,400円
	消費性融資(ロープ・資金含む) ※複数回1回につき(同月受付基準)	5,400円
融資証明書発行	1通につき	3,240円
住宅融資残高証明	1通につき	216円
債務保証書発行	—	無料
預金証書への第三者からの買権設定	1件につき	3,240円
売掛債権担保	—	無料
手形貸付用約束手形用紙	—	無料

両替手数料

枚数	窓 口		両替機 1件あたり 1,500枚まで
	小額金種への両替 同額金種への両替	高額金種への両替	
1~49	無料	無料	無料
50~500	108円		100円
501~1,000	216円		200円
1,001~1,500	324円		300円
1,501~2,000	648円		
以後1,000枚ごと	324円を加算した金額		

(両替枚数は、持参または交付の多い方とし、同数の場合はその枚数)
その他詳しくは窓口までお問い合わせください。

ATM利用手数料

項目	ご利用時間帯	手数料
当金庫のカード	全ての時間	無料
他信金・静岡銀行のカード	平日8:45~18:00/土曜日9:00~14:00 上記以外の時間帯(日曜日・祝日を含む)	108円
他金融機関・ゆうちょ銀行のカード	平日8:45~18:00/土曜日9:00~14:00 上記以外の時間帯(日曜日・祝日を含む)	108円 216円

※ 上記は、当金庫ATM支払時の手数料一覧です。
※ 土曜日が祝日と重なる場合は、祝日扱いとします。

夜間金庫・貸金庫利用手数料

項目	内容	手数料
夜間金庫	1契約(年額)	38,880円
貸金庫	1契約(年額)	3,240円~28,512円 (型状・型式によって異なります)



店舗・ATMのご案内

平成30年7月1日現在

店舗のご案内

貸金庫 夜間金庫 AED 多目的トイレ おもいやり駐車場 外貨両替 Kidsコーナー 駐車場
 ※は契約駐車場がございます。場所等は直接店舗へお問い合わせください。

三島地区

- 1 本店営業部 055(975)4840 三島市芝本町12番3号 22台
- 2 西支店 055(971)1940 三島市西本町1番21号 全自動
- 5 二日町支店 055(971)1312 三島市東本町1丁目16番31号 8台
- 6 大場支店 055(977)1567 三島市大場11番地の11 12台
- 18 三島南支店 055(971)1881 三島市新谷155番地の1 全自動 13台
- 19 三島北支店 055(986)2151 三島市幸原町1丁目8番5号 全自動 8台
- 22 三島谷田支店 055(971)0031 三島市谷田259番地の1 全自動 10台
- 30 松本支店 055(977)2534 三島市松本253番地の12 全自動 11台

沼津地区

- 3 沼津支店 055(962)5481 沼津市大手町5丁目7番10号 全自動 6台
- 4 幸町支店 055(962)2624 沼津市市道町7番22号 全自動 10台
- 13 静浦支店 055(939)0331 沼津市江の浦128番地の1 4台
- 14 戸田支店 0558(94)3130 沼津市戸田346番地の3 14台
- 15 沼津北支店 055(921)0830 沼津市高島本町10番1号 半自動 22台
- 16 原町支店 055(966)1511 沼津市原195番地の6 半自動 6台
- 20 沼津香貴支店 055(933)0770 沼津市南本郷町16番23号 全自動 16台
- 21 あしたか支店 055(921)1134 沼津市中沢田282番地の1 全自動 10台
- 25 岡宮支店 055(924)3455 沼津市花園町21番地の7 全自動 13台
- 31 片浜支店 055(925)3773 沼津市大諏訪646番地の2 全自動 9台
- 33 大岡支店 055(952)6711 沼津市大岡800番地の1 全自動 17台

下田・賀茂地区

- 35 西伊豆支店 0558(52)2378 賀茂郡西伊豆町仁科361番地の1 7台
- 36 松崎支店 0558(42)0224 賀茂郡松崎町宮内350番地の11 全自動 11台
- 42 東伊豆支店 0557(95)1251 賀茂郡東伊豆町稲取667番地 半自動 7台
- 51 南伊豆支店 0558(62)3366 賀茂郡南伊豆町賀茂257番1 マックスバリュ下賀茂店内
- 52 下田中央支店 0558(22)3052 下田市1丁目19番1号 全自動 21台
- 54 河津支店 0558(32)0081 賀茂郡河津町峠497番地の15 5台

駿東・裾野地区

- 10 下土狩支店 055(986)2260 駿東郡長泉町下土狩1116番地の1 半自動 15台
- 17 裾野支店 055(992)3434 裾野市佐野857番地の1 半自動 12台
- 27 裾野東支店 055(993)3411 裾野市茶畑487番地 全自動 10台
- 28 長泉支店 055(973)5551 駿東郡長泉町下土狩96番地の3 全自動 5台
- 29 清水町支店 055(976)0434 駿東郡清水町伏見650番地の1 全自動 9台
- 60 桜サク支店 055(988)3934 駿東郡長泉町桜堤1丁目1番12号 全自動 10台

伊豆の国・伊豆・田方地区

- 7 修善寺支店 0558(72)2314 伊豆市柏久保544番地の2 全自動 11台
- 8 韮山支店 055(949)2252 伊豆の国市南條711番地の2 全自動 26台
- 9 大仁支店 0558(76)1482 伊豆の国市大仁452番地の6 全自動 10台
- 11 湯ヶ島支店 0558(85)0650 伊豆市湯ヶ島209番地の2 全自動 13台
- 12 土肥支店 0558(98)1253 伊豆市土肥676番地 全自動 9台
- 23 函南支店 055(979)1434 田方郡函南町大土肥112番地の1 全自動 15台
- 24 田京支店 0558(76)2434 伊豆の国市田京303番地の10 全自動 10台
- 32 長岡中央支店 055(948)3211 伊豆の国市長岡346番地の6 全自動 9台
- 34 中伊豆支店 0558(83)0092 伊豆市城57番地の1 全自動 10台
- 37 函南西支店 055(978)3400 田方郡函南町間宮492番地の2 全自動 13台

伊東・熱海地区

- 38 川奈駅支店 0557(45)4591 伊東市川奈1215番地の7 半自動 3台
- 39 南伊東支店 0557(38)0001 伊東市桜方丘1丁目2番12号 半自動 25台
- 40 宇佐美支店 0557(48)9067 伊東市宇佐美1861番地の1 半自動 10台
- 43 網代出張所 0557(68)2141 熱海市網代236番地1 3台
- 44 網代駅支店 0557(68)2351 熱海市下多賀432番地1 4台
- 45 熱海支店 0557(82)0265 熱海市中央町12番27号 全自動 9台
- 49 伊東営業部 0557(37)4137 伊東市東松原町11番1号 全自動 12台
- 53 伊東駅支店 0557(38)1213 伊東市湯川1丁目9番20号 半自動 7台
- 59 伊豆高原支店 0557(54)1122 伊東市八幡野1184番地の1 半自動 6台

本部 055(973)5555 駿東郡長泉町下土狩96番地の3
 サポートセンター 055(981)0020 三島市新谷155番地の1(三島南支店2F)

店舗外ATMのご案内

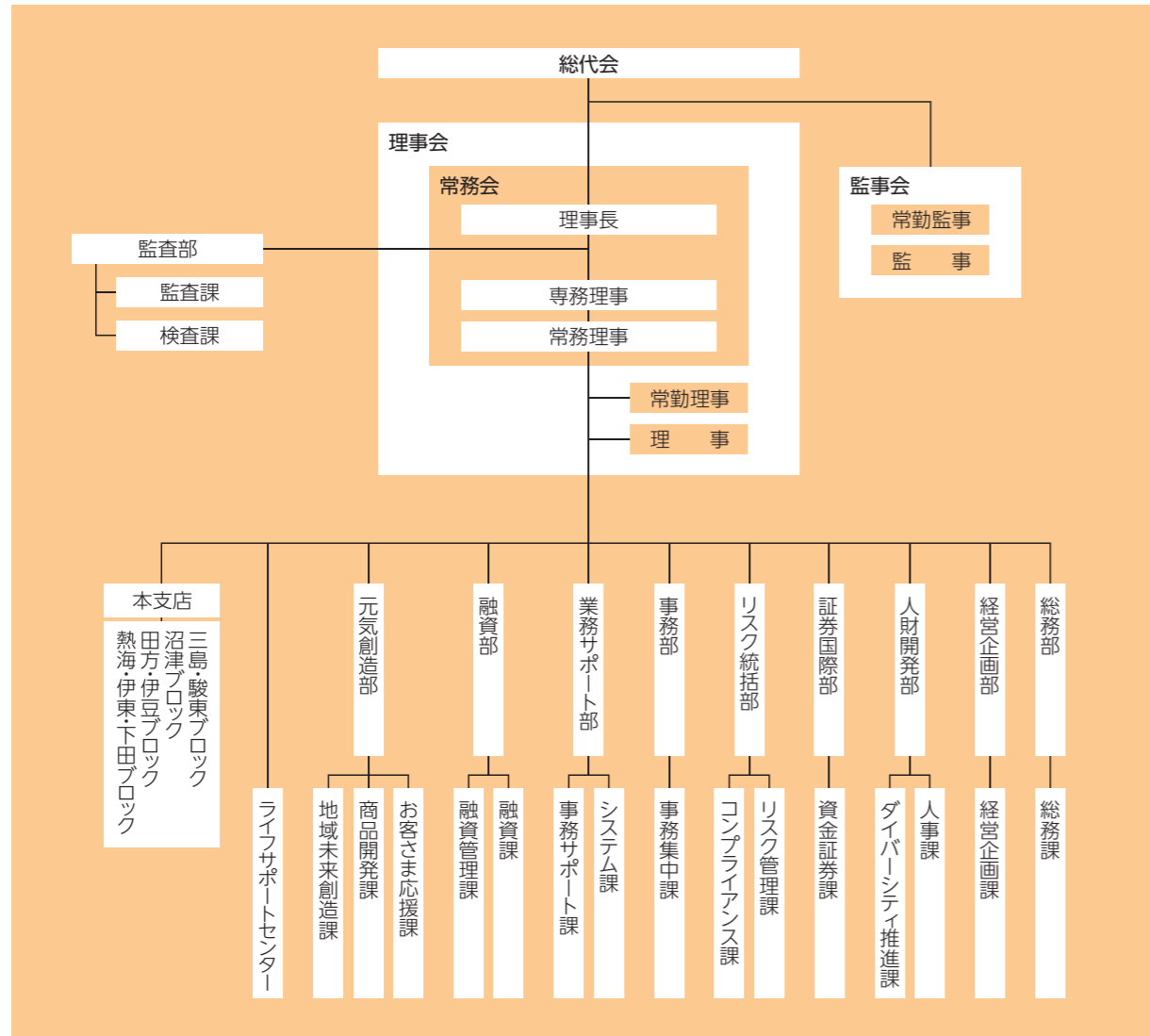
- 三島市
イトーヨーカドー三島店
キミサワ加茂川店
マックスバリュ三島寺町田店
三島本町タワー
三島駅南口
三島市役所
- 沼津市
キミサワ・グラッセ香貴店
マミー原町店
開北
沼津市役所
- 下田市
マックスバリュ伊豆下田市
- 賀茂郡
片瀬白田
- 駿東郡
長泉町役場
サントムーンアネックス
- 裾野市
マックスバリュ裾野茶畑店
裾野市役所
- 伊豆市
青羽根プラザ(湯ヶ島)
修善寺温泉場
- 田方郡
マックスバリュ函南大土肥店
伊豆仁田駅
- 伊豆の国市
マックスバリュ伊豆長岡店
伊賀ショッピング
アピタ大仁店
- 熱海市
多賀
熱海市役所
- 伊東市
伊東市役所
市立伊東市民病院
ナガヤ宇佐美桜田店
伊東ショッピングプラザ・デュオ
マックスバリュ伊豆高原店
岡
- その他
JR名古屋駅 桜通口
JR名古屋駅 スカイシャトル
中部国際空港アクセスプラザ
富士山静岡空港



色付きの丸数字は当金庫の支店名です。

組織図

(平成30年7月1日現在)



概要

所在地 三島市芝本町12番3号
 創立 明治44年1月21日
 店舗数 50店舗
 会員勘定 874億円
 会員数 58,175人
 (平成30年3月31日現在)

役員 (平成30年6月15日現在)
 理事長 平井 敏雄
 専務理事 野村 幸男^{*1}
 常務理事 波多野 幸
 常務理事 高嶋 正芳
 常勤理事 下田 雅洋
 常勤理事 川井 章義
 常勤理事 秋山 仁
 常勤理事 永松 歳雄
 理事 坂本 由紀子^{*1}

職員の状況
 職員数 740人
 平均年齢 41歳3ヵ月
 平均勤続年数 16年2ヵ月
 (平成30年3月31日現在)
 ※1 理事 野村幸男、坂本由紀子は、信用金庫業界の「総代会の機能向上策等に関する業界申し合わせ」に基づく職員外理事です。
 ※2 監事 鍋田修、関 亮子は信用金庫法第32条第5項に定める員外監事です。

明治	44年 1月	産業組合法により、有限責任三島信用組合を組合員89名にて設立(初年度預金278円、貸出金928円)
大正	10年	創立10周年 (組合員231名、預金19,173円、貸出金34,170円)
昭和	11年 10月	創立25周年記念行事実施 本店建築落成 (組合員1,339名、預金1,084千円、貸出金639千円)
	18年 6月	市街地信用組合法により「市街地信用組合」に改組
	23年 5月	第一次区域拡張認可(三島市、沼津市および駿東郡、田方郡下の11町村となる)
	24年 7月	中小企業等協同組合法の公布により「信用協同組合」に改組
	26年 10月	信用金庫法の制定により「三島信用金庫」に組織変更
	27年 7月	第二次区域拡張認可(駿東郡、田方郡下の12町村追加)
	33年 9月	狩野川台風襲来 災害復興資金の低利、長期貸出実施
	36年 5月	創立50周年記念行事実施 (会員8,764名、預金54億円、貸出金38億円)
	37年 1月	社会福祉法人「三信福祉協会」を設立
	44年 8月	第三次区域拡張認可(富士市、御殿場市および賀茂郡の2町村追加)
	48年 4月	電子計算機を導入・オフライン処理開始
	49年 1月	東海地区信金共同事務センターに加盟 預金オンライン処理開始
	7月	第四次区域拡張認可(熱海市および賀茂郡の2町追加)
	50年 4月	現金自動支払機(CD)を3店舗に設置
	53年 6月	第五次区域拡張認可(伊東市および賀茂郡の2町追加)
	56年 10月	現金自動預け払い機(ATM)を初設置
	58年 3月	全国信用金庫の普通預金オンライン提携 「しんきんネットキャッシュサービス」開始
	60年 12月	新本部ビル竣工、業務開始
	61年 2月	創立75周年記念行事実施 (会員30,341名、預金1,965億円、貸出金1,271億円)

平成	2年 7月	業態間CDオンライン提携により都市銀行、地方銀行とのCDネット取引開始
	4年 12月	年金振込者による、さんしん年金友の会「ゆとり倶楽部」を発足
	6年 8月	さんしんビジネス株式会社設立
	8年 3月	ATMの祝日稼働開始
	10年 3月	静岡手形交換所参加(県内手形交換所一本化)
	9月	ATMの取扱時間を平日・土日・祝日とも朝8時～夜8時までとし、手数料無料化の取扱開始
	12年 10月	当金庫と静岡銀行間のATM顧客利用手数料の無料化
	12月	「しんきんゼロネットサービス」開始(手数料の無料化)
	14年 9月	下田信用金庫の西伊豆支店および松崎支店の2店舗の事業を譲り受ける
	16年 12月	無利息型普通預金(決済用預金)の取扱開始
	18年 10月	伊豆信用金庫と合併
	22年 7月	三島南支店 新築オープン 三島南支店2階に「サポートセンター夢」オープン
	23年 1月	創立100周年記念行事実施 (会員63,900名、預金7,579億円、貸出金4,008億円) 本店営業部 新築オープン 本店4階に「さんしんギャラリー善(ZEN)」オープン 帯広信用金庫と業務提携
	24年 9月	さんしんハートフル株式会社 操業開始
	25年 2月	熱海支店 新築オープン
	11月	土肥支店 移転オープン
	26年 11月	桜サク支店 オープン
	28年 3月	幸町支店 新築オープン
	29年 1月	さがみ信用金庫と業務提携
	29年 8月	原町支店 新築オープン
	30年 1月	沼津香貫支店 新築オープン



お客さま保護方針

三島信用金庫は、経営理念に基づく基本方針を具現化する事業活動が有効・効率的かつ適正に達成されるために、金庫内部で適用されるルールを整備・運用しています。

次に掲載する諸方針等は、お客さまに安心感・満足感をもってお取引いただくために、全役職員が適切な事業活動を行うための基本となる共通の行動ルールとして制定しています。

お客さま保護に関する諸方針

◎顧客保護等管理方針(概要)

当金庫は顧客保護等管理体制の整備確立により、顧客の保護および利便の向上により業務の健全性および適切性を図ります。

- 1顧客とは**
ここでいう顧客とは、当金庫の業務サービスを利用する顧客だけではなく、これからサービスの利用者となろうとするものも含む全ての顧客のことをさします。
- 2顧客説明管理について**
顧客に対する全ての取引や商品について、その理解度や経験・資産の状況等に応じた適正な情報提供と商品説明を行います。
- 3顧客サポート等管理について**
顧客からの相談や苦情については、公正・迅速・誠実に対応し、顧客の理解と信頼を得られるよう努めるとともに、顧客の正当な利益が保護されるように努めます。
- 4顧客情報管理について**
当金庫は、顧客の情報を適正かつ適法な手段で取得し、法令等で定める場合を除き利用目的の範囲を超えた取扱いや顧客の同意を得ることなく外部への提供は行いません。また、顧客の情報を正確に保つよう努めるとともに、情報の不正アクセスや情報の流出・紛失等の防止のため、必要かつ適切な措置を講じます。
- 5外部委託管理について**
当金庫が行う業務を外部業者に委託するにあたっては、顧客情報の管理や顧客への対応が適切に行われるよう努めます。
- 6利益相反管理について**
当金庫は、当金庫と顧客の間、ならびに当金庫の顧客相互間における利益相反のおそれのある取引に関し、法令等に従い、顧客の利益を不当に害することのないよう適切に業務を遂行します。
- 7その他の業務管理について**
顧客保護や利便の向上のために必要であると判断される業務については、この方針に基づき対応いたします。

◎金融ADR制度への対応

苦情処理措置

当金庫は、お客さまからの苦情のお申し出に公正かつ的確に対応するため業務運営体制・内部規則を整備し、その内容をホームページ等で公表しています。

苦情は、当金庫営業日(9時～17時)に営業店(電話番号は27ページご参照)またはお客さま相談窓口(電話:0120-775-501)で受け付けています。

紛争解決措置

当金庫は、紛争解決のため、当金庫営業日に上記お客さま相談窓口または全国しんきん相談所(9時～17時、電話:03-3517-5825)にお申し出があれば、東京弁護士会(電話:03-3581-0031)、第一東京弁護士会(電話:03-3595-8588)、第二東京弁護士会(電話:03-3581-2249)、静岡県弁護士会(電話:055-931-1848)の仲裁センター等にお取次ぎいたします。また、お客さまから各弁護士会に直接お申し出いただくことも可能です。

なお、前記東京弁護士会、第一東京弁護士会、第二東京弁護士会の各仲裁センター等は、東京都以外の各地のお客さまにもご利用いただけます。その際には、お客さまのアクセスに便利な東京以外の弁護士会をご利用する方法もあります。例えば、東京以外の弁護士会において東京の弁護士会とテレビ会議システム等を用いる方法(現地調停)や、東京以外の弁護士会に案件を移す方法(移管調停)があります。ご利用いただける弁護士会については、あらかじめ前記「東京弁護士会、第一東京弁護士会、第二東京弁護士会、全国しんきん相談所または当金庫お客さま相談窓口」にお尋ねください。

◎利益相反管理方針(概要)

当金庫は、信用金庫法および金融商品取引法等を踏まえ、お客さまとの取引にあたり、本方針および当金庫が定める庫内規則に基づき、お客さまの利益が不当に害されるおそれのある取引を適切に管理(以下「利益相反管理」といいます。)し、もってお客さまの利益を保護するとともに、お客さまからの信頼を向上させるため、次の事項を遵守いたします。

- 1当金庫がお客さまと行う取引を対象として利益相反管理を行います。**
- 2当金庫は、以下に定める取引を利益相反管理の対象とします。**
 - (1)次に掲げる取引のうち、お客さまの利益が不当に害されるおそれのある取引
 - ①当金庫が契約等に基づく関係を有するお客さまと行う取引
 - ②当金庫が契約等に基づく関係を有するお客さまと対立または競合する相手と行う取引
 - ③当金庫が契約等に基づく関係を有するお客さまから得た情報を不当に利用して行う取引
 - (2)①から③のほかお客さまの利益が不当に害されるおそれのある取引
- 3当金庫は、利益相反管理の対象となる取引について、次に掲げる方法その他の方法を選択し、またこれらを組み合わせることにより管理します。**
 - ①対象取引を行う部門とお客さまとの取引を行う部門を分離する方法
 - ②対象取引またはお客さまとの取引の条件または方法を変更する方法
 - ③対象取引またはお客さまとの取引を中止する方法
 - ④対象取引に伴い、お客さまの利益が不当に害されるおそれがあることについて、お客さまに適切に開示する方法
- 4当金庫は、営業部門から独立した管理部門の設置および責任者の配置を行い、利益相反のおそれのある取引の特定および利益相反管理を一元的に行います。**
また、当金庫は、利益相反管理について定められた法令および庫内規則等を遵守するため、役職員等を対象に教育・研修等を行います。
- 5当金庫は、利益相反管理態勢の適切性および有効性について定期的に検証します。**

◎反社会的勢力に対する基本方針

当金庫は、社会の秩序や安全に脅威を与え、健全な経済・社会の発展を妨げる反社会的勢力との関係を遮断するため、以下のとおり「反社会的勢力に対する基本方針」を定め、これを遵守します。

- 1当金庫は、反社会的勢力との取引を含めた関係を遮断し、不当要求に対しては断固として拒絶します。**
- 2当金庫は、反社会的勢力による不当要求に対し、職員の安全を確保しつつ組織として対応し、迅速な問題解決に努めます。**
- 3当金庫は、反社会的勢力に対して資金提供、不適切・異例な取引および便宜供与は行いません。**
- 4当金庫は、反社会的勢力による不当要求に備えて、平素から警察、暴力追放運動推進センター、弁護士などの外部専門機関と緊密な連携関係を構築します。**
- 5当金庫は、反社会的勢力による不当要求に対しては、民事と刑事の両面から法的対抗措置を講じる等、断固たる態度で対応します。**

◎個人情報保護宣言(プライバシーポリシー)

当金庫は、お客さまからの信頼を第一と考え、お客さまの個人情報および個人番号(以下「個人情報等」といいます。)の適切な保護と利用を図るために、個人情報の保護に関する法律(平成15年法律第57号)、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(平成25年5月31日法律第27号)および金融分野における個人情報保護に関するガイドライン、その他個人情報等保護に関する関係諸法令等を遵守するとともに、その継続的な改善に努めます。また、個人情報等の機密性・正確性の確保に努めます。

平成30年1月1日
三島信用金庫

- 1個人情報とは**
本プライバシーポリシーにおける「個人情報」とは、「住所・氏名・電話番号・生年月日」等、特定の個人を識別することができる情報をいいます。
- 2個人情報等の取得・利用について**
 - (1)個人情報等の取得
 - 当金庫は、あらかじめ利用の目的を明確にして個人情報等の取得をします。また、金庫業務の適切な業務運営の必要から、お客さまの住所・氏名・電話番号、性別、生年月日などの個人情報の取得に加えて、融資のお申込みの際には、資産、年収、勤務先、勤続年数、ご家族情報、金融機関での借入れ状況など、金融商品をお勧めする際には、投資に関する知識・ご経験、資産状況、年収などを確認させていただくことがあります。
 - お客さまの個人情報は、
 - ①預金口座のご新規申込書等、お客さまにご記入・ご提出いただく書類等に記載されている事項
 - ②営業店窓口係や得意先係等が口頭でお客さまから取得した事項
 - ③当金庫ホームページ等の「お問い合わせ」等の入力事項
 - ④各地手形交換所等の共同利用者や個人信用情報機関等の第三者から提供される事項
 - ⑤その他一般に公開されている情報 等から取得しています。
 - (2)個人情報等の利用目的
 - 当金庫は、次の利用目的のために個人情報等を利用し、それ以外の目的には利用しません。個人番号については、法令等で定められた範囲内でのみ利用します。また、お客さまにとって利用目的が明確になるよう具体的に定めるとともに、取得の場面に応じ、利用目的を限定するよう努めます。
 - お客さま本人の同意がある場合、もしくは法令等により開示が求められた場合等を除いて、個人情報を第三者に開示することはございません。
 - A.個人情報(個人番号を含む場合を除きます)の利用目的(利用目的)
 - ①各種金融商品の口座開設等、金融商品やサービスの申込みの受付のため
 - ②法令等に基づくご本人さまの確認等や、金融商品やサービスをご利用いただく資格等の確認のため
 - ③預金取引や融資取引等における期日管理等、継続的なお取引における管理のため
 - ④融資のお申込みや継続的なご利用等に際しての判断のため
 - ⑤適合性の原則等に照らした判断等、金融商品やサービスの提供にかかる妥当性の判断のため
 - ⑥与信事業に際して当金庫が加盟する個人信用情報機関に個人情報を提供する場合等、適切な業務の遂行に必要な範囲で第三者に提供するため
 - ⑦他の事業者等から個人情報の処理の全部または一部について委託された場合等において、委託された当該業務を適切に遂行するため
 - ⑧お客さまとの契約や法律等に基づく権利の行使や義務の履行のため
 - ⑨市場調査、ならびにデータ分析やアンケートの実施等による金融商品やサービスの研究や開発のため
 - ⑩ダイレクトメールの発送等、金融商品やサービスに関する各種ご提案のため
 - ⑪提携会社等の商品やサービスの各種ご提案のため
 - ⑫各種お取引の解約やお取引解約後の事後管理のため
 - ⑬その他、お客さまのお取引を適切かつ円滑に履行するため(法令等による利用目的の限定)
 - ①信用金庫法施行規則第110条等により、個人信用情報機関から提供を受けた資金需要者の借入金返済能力に関する情報は、資金需要者の返済能力の調査以外の目的に利用・第三者提供いたしません。
 - ②信用金庫法施行規則第111条等により、人種、信条、門地、本籍地、保健医療または犯罪経歴についての情報等の特別の非公開情報は、適切な業務運営その他の必要と認められる目的以外の目的に利用・第三者提供いたしません。
- 3個人情報等の取得・利用について**
 - (1)個人情報等の取得
 - 当金庫は、あらかじめ利用の目的を明確にして個人情報等の取得をします。また、金庫業務の適切な業務運営の必要から、お客さまの住所・氏名・電話番号、性別、生年月日などの個人情報の取得に加えて、融資のお申込みの際には、資産、年収、勤務先、勤続年数、ご家族情報、金融機関での借入れ状況など、金融商品をお勧めする際には、投資に関する知識・ご経験、資産状況、年収などを確認させていただくことがあります。
 - お客さまの個人情報は、
 - ①預金口座のご新規申込書等、お客さまにご記入・ご提出いただく書類等に記載されている事項
 - ②営業店窓口係や得意先係等が口頭でお客さまから取得した事項
 - ③当金庫ホームページ等の「お問い合わせ」等の入力事項
 - ④各地手形交換所等の共同利用者や個人信用情報機関等の第三者から提供される事項
 - ⑤その他一般に公開されている情報 等から取得しています。
 - (2)個人情報等の利用目的
 - 当金庫は、次の利用目的のために個人情報等を利用し、それ以外の目的には利用しません。個人番号については、法令等で定められた範囲内でのみ利用します。また、お客さまにとって利用目的が明確になるよう具体的に定めるとともに、取得の場面に応じ、利用目的を限定するよう努めます。
 - お客さま本人の同意がある場合、もしくは法令等により開示が求められた場合等を除いて、個人情報を第三者に開示することはございません。
 - A.個人情報(個人番号を含む場合を除きます)の利用目的(利用目的)
 - ①各種金融商品の口座開設等、金融商品やサービスの申込みの受付のため
 - ②法令等に基づくご本人さまの確認等や、金融商品やサービスをご利用いただく資格等の確認のため
 - ③預金取引や融資取引等における期日管理等、継続的なお取引における管理のため
 - ④融資のお申込みや継続的なご利用等に際しての判断のため
 - ⑤適合性の原則等に照らした判断等、金融商品やサービスの提供にかかる妥当性の判断のため
 - ⑥与信事業に際して当金庫が加盟する個人信用情報機関に個人情報を提供する場合等、適切な業務の遂行に必要な範囲で第三者に提供するため
 - ⑦他の事業者等から個人情報の処理の全部または一部について委託された場合等において、委託された当該業務を適切に遂行するため
 - ⑧お客さまとの契約や法律等に基づく権利の行使や義務の履行のため
 - ⑨市場調査、ならびにデータ分析やアンケートの実施等による金融商品やサービスの研究や開発のため
 - ⑩ダイレクトメールの発送等、金融商品やサービスに関する各種ご提案のため
 - ⑪提携会社等の商品やサービスの各種ご提案のため
 - ⑫各種お取引の解約やお取引解約後の事後管理のため
 - ⑬その他、お客さまのお取引を適切かつ円滑に履行するため(法令等による利用目的の限定)
 - ①信用金庫法施行規則第110条等により、個人信用情報機関から提供を受けた資金需要者の借入金返済能力に関する情報は、資金需要者の返済能力の調査以外の目的に利用・第三者提供いたしません。
 - ②信用金庫法施行規則第111条等により、人種、信条、門地、本籍地、保健医療または犯罪経歴についての情報等の特別の非公開情報は、適切な業務運営その他の必要と認められる目的以外の目的に利用・第三者提供いたしません。
- 4個人情報等の開示・訂正等、利用停止等について**
 - お客さま本人から、当金庫が保有している情報について開示等のご請求があった場合には、請求者がご本人であること等を確認させていただいたうえで、遅滞なくお答えします。
 - お客さま本人から、当金庫が保有する個人情報等の内容が事実でないという理由によって当該個人情報等の訂正、追加、削除または利用停止、消去のご要望があった場合には、遅滞なく必要な調査を行ったうえで個人情報等の訂正等または利用停止等を行います。なお、調査の結果、訂正等を行わない場合には、その根拠をご説明させていただきます。
 - お客さまからの個人情報等の開示等のご請求については、所定の手数料をお支払いいただきます。
 - 以上のとおり、お客さまに関する情報の開示・訂正等、利用停止等が必要な場合は、下記のお問い合わせ先までお申し出ください。必要な手続きについてご案内させていただきます。
- 5個人情報等の安全管理について**
当金庫は、お客さまの個人情報等の漏えい、滅失、または毀損の防止その他の個人情報等の適切な管理のために必要な措置を講じます。
(リンクについて)
当金庫のウェブサイトには、外部サイトへのリンクがあります。リンク先のウェブサイトは当金庫が運営するものではありませんので、お客さまの個人情報等の保護についての責任はリンク先にあります。
(クッキーについて)
当金庫のホームページではクッキーを使用していますが、クッキーによる個人のサイト利用動向の取得は行っていません。
(クッキーとは)
クッキーとは、お客さまがウェブサイトへアクセスする際、お客さまのパソコン等のウェブブラウザに一定の情報を格納し、再度お客さまが当金庫のウェブサイトをご利用いただくことを容易にする技術です。クッキーを読むことができるのは設定したウェブサイトのみです。お客さまが接続されたその時のみ有効であり、また、お客さまの氏名・Eメールアドレスなど個人を特定する情報は含まれていません。
- 6委託について**
当金庫は、例えば、次のような場合に、個人データの取扱いの委託を行います。また、委託に際しましては、お客さまの個人情報等の安全管理が図られるよう委託先を適切に監督いたします。
 - キャッシュカード発行・発送に関わる事務
 - 定期預金の期日案内等の作成・発送に関わる事務
 - ダイレクトメールの発送に関わる事務
 - 情報システムの運用・保守に関わる業務
- 7個人情報保護に関する質問・苦情・異議の申立てについて**
当金庫は、個人情報等の取扱いに係るお客さまからの苦情処理に適切に取り組みます。なお、当金庫の個人情報等の取扱いに関するご質問・苦情の申立てにつきましては、下記のお客さま相談窓口までご連絡ください。

個人情報等に関する
ご相談窓口

三島信用金庫 お客さま相談窓口
フリーダイヤル ☎0120-775-501 住所／〒411-8651 駿東郡長泉町下土狩96-3
さんしんホームページ内お問い合わせフォーム

総代会制度とは、会員の皆さまのご意見を適正に反映させるための制度です。

総代会制度について

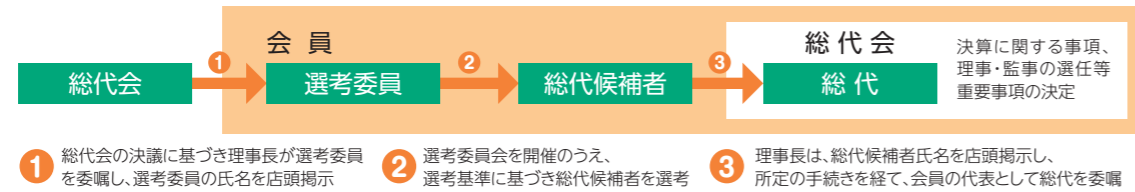
信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員一人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、1人1票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。

しかし、当金庫では、会員数がたいへん多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、当金庫では、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しています。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は、総会と同様に、会員一人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、総代構成のバランス等に配慮し、選任区域ごとに総代候補者を選定する総代選考委員会を設け、会員の中から適正な手続きにより選任された総代により運営されます。

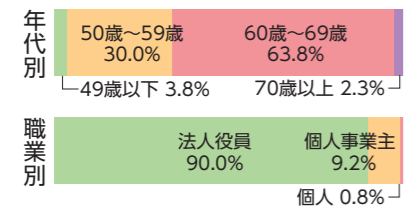
さらに、当金庫では、総代会に限定することなく、一般会員等の意見調査や総代懇談会の開催、ご意見箱の店頭設置、電話や電子メール、お客さまご意見カード(はがき)等による意見・要望・苦情窓口の設置、役職員による日々の訪問活動等を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切に、さまざまな経営改善に取り組んでいます。

◎ 総代会の運営に関するご意見やご要望につきましては、お近くの営業店までお寄せください。



総代の氏名等		(平成30年6月15日現在)									
選任区域	人数	氏名(就任回数) ※氏名の後の丸数字は総代の就任回数です。(敬称略・順不同)									
第1区 三島市	26人	鈴木敏明 ^⑤ 山下 昭 ^② 荻野 豊 ^⑤ 阿部重則 ^⑤	山本良一 ^⑥ 山本 豊 ^② 長川さとみ ^① 前田 磨 ^①	福家英也 ^③ 佐藤浩美 ^① 渡邊昌宏 ^⑤	伊丹真人 ^② 勝又壯一 ^② 小野裕司 ^②	曾我洋子 ^② 杉山 潔 ^② 鶴岡洋介 ^①	三田明宏 ^② 山本寿美子 ^② 佐野宏三 ^③	関野忠明 ^⑥ 古屋こま系 ^① 篠木喜世 ^①	寺尾 直 ^④ 西原宏夫 ^⑤ 二ノ宮登 ^②		
第2区 沼津市 富士市	26人	遠藤忠男 ^⑤ 山田隆継 ^② 後藤剛徳 ^② 青嶋廣和 ^④	三枝重夫 ^⑤ 飯田 勝 ^⑥ 土屋雄二郎 ^① 野原敬裕 ^③	真島一浩 ^③ 原 敏男 ^⑤ 笹原菊夫 ^③	田中清明 ^① 刑部 治 ^③ 近藤晴美 ^②	玉井恒顕 ^③ 山田 真 ^③ 辻野武義 ^⑥	吉牟禮勝人 ^① 石塚久美子 ^① 岩崎美津子 ^①	太田兄則 ^③ 野田始彦 ^① 山口和一 ^③	松岡 浩 ^② 田村儀昭 ^③ 野口繁明 ^①		
第3区 駿東郡・裾野市 御殿場市	14人	高木正治 ^② 遠藤 隆 ^④	柏木順孝 ^③ 勝又寛明 ^①	深澤好正 ^④ 小野寺宏 ^①	下山幹夫 ^① 杉山和幸 ^②	白砂智恵子 ^① 飯田芳久 ^②	瀬戸一成 ^③ 大塩秀樹 ^①	渡邊康一 ^⑥	名取慶仁 ^①		
第4区 田方郡 伊豆市 伊豆の国市	23人	今井泰雄 ^⑤ 山本裕二 ^④ 梅原 稔 ^①	芹澤敏明 ^② 杉山治子 ^② 松下博正 ^①	小森泰信 ^③ 鈴木基文 ^⑤ 鈴木教彦 ^③	水口栄信 ^③ 立岩康男 ^② 木下清一 ^④	萩原裕一 ^② 工藤 敏 ^③ 植松信夫 ^③	秋田辰彦 ^③ 石川廣一 ^③ 石井真澄 ^②	佐藤英紀 ^① 尾崎 貢 ^④ 田中徳文 ^③	土屋龍太郎 ^④ 高橋 誠 ^④		
第5区 伊東市 熱海市 神奈川県足柄下郡	25人	上村昌延 ^③ 齋藤 稔 ^④ 大館裕司 ^① 葛城武典 ^①	白鳥宏明 ^② 鈴木久美子 ^① 沼田竹広 ^④	塩地善一 ^① 渡辺 徹 ^③ 石田龍夫 ^③	村山和弘 ^④ 菊間 充 ^① 川口信之 ^③	力石賢一 ^④ 富岡篤美 ^③ 増田真啓 ^①	飯島崇宏 ^② 稲村貴子 ^① 鈴木 敦 ^④	北川和正 ^① 山田義廣 ^④ 肥田雅雄 ^①	玉川 隆 ^④ 藤間恵見子 ^① 杉山光男 ^④		
第6区 下田市・賀茂郡 その他	16人	鈴木章吾 ^② 山下古一 ^③	高橋仁志男 ^② 稲葉正善 ^③	川上安弘 ^④ 佐藤雅英 ^②	岩田良広 ^① 田中 豊 ^①	白井寛志 ^④ 小林加奈子 ^①	吉川映治 ^③ 正木信吾 ^④	佐々木勝 ^④ 土屋典之 ^②	土屋達夫 ^② 稲本雅子 ^①		

■ 総代の属性別構成比 ※業種別の構成比は、法人役員、個人事業主に限る。(平成30年6月15日現在)



業種別	割合	業種別	割合
製造業	20.0%	学術研究、専門・技術サービス業	7.7%
農業、林業	0.8%	宿泊業	6.2%
建設業	21.5%	飲食業	3.8%
電気・ガス・熱供給・水道業	1.5%	生活関連サービス業、娯楽業	3.1%
運輸業、郵便業	1.5%	教育、学習支援業	2.3%
卸売業、小売業	20.8%	医療、福祉	2.3%
不動産業	5.4%	その他のサービス	3.1%

総代とその選任方法

(1) 総代の任期・定数

- 総代の任期は3年です。
- 総代の定数は、120人以上160人以内で、会員数に応じて選任区域ごとに定められています。

(2) 総代の選任方法

総代は、会員の代表として、会員の総意を三島信用金庫の経営に反映する重要な役割を担っています。そこで総代の選考は、総代候補者選考基準に基づき、次の3つの手続きを経て選任されます。

- 総代会の決議により会員の中から総代候補者選考委員を選任する。
- 選考委員会を開催のうえ、総代候補者選考委員が総代候補者を選考する。
- その総代候補者を会員が信任する(異議があれば申立てる)。

総代選考基準

総代選考にあたっては次の基準をもって行う。

(1) 人物等

- ① 三島信用金庫の会員であること
- ② 地域における信望厚く、総代として相応しい見識を有していること
- ③ 金庫の理念をよく理解し、金庫との取引も良好であること
- ④ 人格にすぐれ、金庫経営ならびに業績発展に積極的に協力してくれる人

(2) 再任の制限

総代は連続して3期を超えて再任しない。また、次の事項に該当する場合は、原則として再任は行わない。

- ① 通常総代会の出席率が著しく低い者(任期3回の通常総代会で2回以上欠席した者。なお、委任状による出席は、この場合欠席とみなす)
- ② 市町長、県議会議員以上の立候補者、もしくは当選者
- ③ 当金庫との取引が不振または解消された場合
- ④ 総代として相応しくない状態となった場合

(3) 辞任

本人より辞任のお申し出があった場合は、金庫が受理したときをもって退任とする。

※平成25年4月1日に新たに就任した総代より、本基準を適用する。

※平成25年3月31日以前に就任した総代の在任は、総代選考年の3月31日現在の年齢満65歳をもって終了するものとし、任期の途中で、年齢が満65歳に達した場合は、その任期の満了をもって終わるものとする。

総代が選任されるまでの手続き

地区を6区の選任区域に分け、選任区域ごとに総代の定数を定める

1 総代候補者選考委員の選任

総代会の決議により、選任区域ごとに会員のうちから選考委員を委嘱

選考委員の氏名を店頭に掲示

2 総代候補者の選考

選考委員が総代候補者を選考

理事長に報告

総代候補者の氏名を1週間以上店頭掲示

上記掲示について公告

異議申出期間(公告後2週間以内)

3 総代の選任

会員から異議がない場合または、選任区域の会員数の1/3未満の会員から異議のお申し出があった総代候補者

選任区域の会員数の1/3以上の会員から異議のお申し出があった総代候補者

当該総代候補者が選任区域の総代定数の1/2以上

当該総代候補者が選任区域の総代定数の1/2未満

a. b いずれかを選択

a. 他の総代候補者を選考

b. 欠員(選挙を行わない)

2 以下の手続きを経て

理事長は総代に委嘱

総代の氏名を店頭に1週間以上掲示

第108期 通常総代会の決議事項

第108期通常総代会において、次の事項が報告ならびに決議され、それぞれ原案のとおり承認されました。

■ 報告事項

- ① 第108期(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)業務報告、貸借対照表及び損益計算書の内容報告について
- ② 一般会員等の意見に基づいて実施した事項について

■ 決議事項

- 〈第1号議案〉 剰余金処分案承認の件
- 〈第2号議案〉 定款一部変更の件
- 〈第3号議案〉 会員除名の件
- 〈第4号議案〉 退任理事及び退任監事に対する退職慰労金贈呈の件
- 〈第5号議案〉 総代候補者選考委員選任の件

内部管理態勢とは、金融機関のみならず、あらゆる事業者がその事業目的を適正に達成するために、その組織内において適用されるルールや業務プロセスを整備し適正に運用するシステムをいいます。

金融機関にとって内部管理態勢の整備は経営の根幹をなすものであり、また安全かつ健全な業務を行うための基盤となるものです。具体的には、コンプライアンスの徹底、リスク管理の高度化への対応、お客さま保護態勢の強化などに取り組むことにより、持続的成長を支える強固な経営基盤を整備・構築していきます。

コーポレートガバナンス

会員・お客さまの声を経営に適切に反映させるため、総代会を通じて事業運営に反映させる仕組みを構築するなど、コーポレートガバナンスの強化に努めています。

◎総代会

総代会は、当金庫の最高意思決定機関であり、決算や事業活動等の報告が行われるとともに、剰余金処分、定款変更、理事・監事の選任等、当金庫の重要事項に関する審議・決議がなされます。総代数は平成30年6月15日(総代会開催日)現在で130人です。

◎経営管理

理事会は、重要事項を決定するとともに、理事の職務執行の監督責任を負っています。監事会は、当金庫のコンプライアンスや経営全般にわたるリスク管理への対応状況、業務・財務の状況について監査を実施します。

また、職員外理事(職員出身以外の理事)、員外監事(信用金庫法第32条に定める員外監事)の登用により、経営の透明性の確保とガバナンスの一層の充実を図っています。

平成30年6月末現在、職員外理事2名、員外監事2名を登用しています。

当金庫の経営情報を積極的に開示することは経営の透明性を高め、コーポレートガバナンスの強化につながります。そのため、ディスクロージャー誌・ホームページ等の充実にも努めています。

個人情報の適切な保護と利用を図るため関係法令等を遵守するとともに、個人情報の機密性・正確性の確保に努めています。

◎内部統制

当金庫は、内部統制に関する基本的な考え方や取組方針を内部統制基本方針として定めています。

◎働きやすい職場づくり

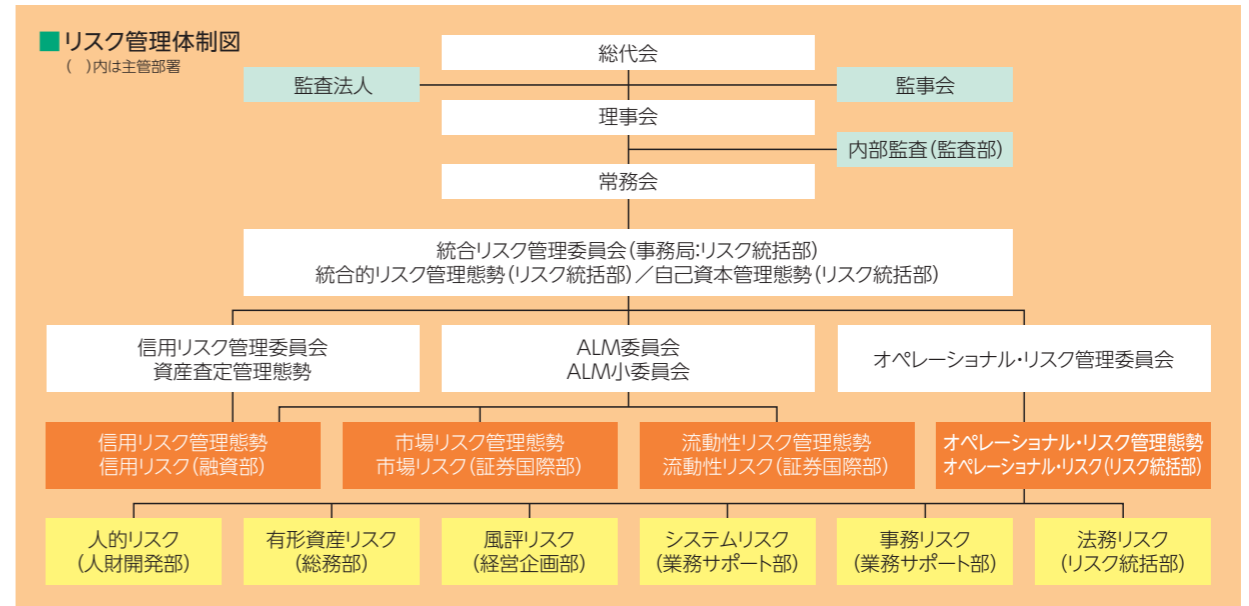
当金庫は、職員の人権・プライバシーを尊重するとともに、安全で働きやすい快適な環境を確保するため、誠実に職員との対話・協議に努めています。

また、セクシュアルハラスメントやパワーハラスメント、人事関係の相談に対応するための担当を配すなど、働きやすい職場づくりに努めています。

統合的リスク管理態勢

当金庫では、リスク管理の重要性を認識し、その徹底を図るため「リスク管理の基本方針」を定めるとともに、リスク管理に関する役割を明確にするために「統合リスク管理規程」およびリスク別の「管理規程」を定めています。さらに、リスク管理態勢の充実を図るために、「統合リスク管理委員会」の傘下に、「ALM委員会」「信用リスク管理委員会」「オペレーショナル・リスク管理委員会」を設け、健全性の確保と収益性の向上に向けた態勢を整備しています。

また、定期的に各リスクのリスク量を計測し、自己資本額(経営体力)と対比することにより自己資本充実度のモニタリングを実施し、リスクのコントロールを行っています。



■リスク管理の基本方針

当金庫は、直面するリスクに関して、自己資本比率の算定に含まれないリスク(与信集中リスク、銀行勘定の金利リスク等)を含めて、リスク・カテゴリーごと(信用リスク、市場リスク、オペレーショナル・リスク等)に評価したリスクを総体的に捉え、経営体力(自己資本)と比較・対照することによって統合的なリスク管理を行い、経営の健全性を維持しながら、より収益性を高めていかなければならない。

■主なリスク

信用リスク

信用リスクとは、取引先の倒産や経営内容の悪化により、貸出金や利息などが回収不能となり損失を被るリスクをいいます。当金庫では、貸出資産の健全性を確保するため、営業推進部門と審査部門、管理部門をそれぞれ分離独立させ、厳格な審査体制をとっています。また、信用格付等に基づいてリスクを適正に把握するとともに信用リスク管理委員会を設置し、適切なポートフォリオ管理等によりリスクのコントロールに努めています。

市場リスク

市場リスクとは、金利、有価証券等の価格、為替等のさまざまな市場要因の変動により、保有資産の価格が変動して損失を被るリスクをいいます。当金庫は、金利リスク、価格変動リスクのほか、為替リスク、信用リスク等も考慮し、特定なものに集中投資することなく、バランスのとれたポートフォリオを構築し、リスクの分散を図ることを余剰資金運用の基本原則としています。また、資金調達・運用の最適化と収益力の向上を図ることを目的として「ALM委員会」を定期的に開催しています。委員会では、リスクの計量化や収益シミュレーションを行い、現状分析と将来予測について検討しています。

オペレーショナル・リスク

オペレーショナル・リスクとは、当金庫の業務の過程、従業員の活動もしくはシステムが不適切であること、または外生的な事象により損失を被るリスクをいいます。具体的には事務リスク、システムリスク、法務リスク、風評リスク、有形資産リスク、人的リスク等の幅広いリスクを含んでいます。

●事務リスク

事務リスクとは、金融機関の従業員が適切な事務処理を怠る、あるいは事故・不正等により損失を被るリスクをいいます。当金庫では、事務処理水準の向上を図るため、事務取扱要領等の整備を進めるとともに、本部各部および営業店に対して監査部門(監査部)による監査を定期的実施しています。

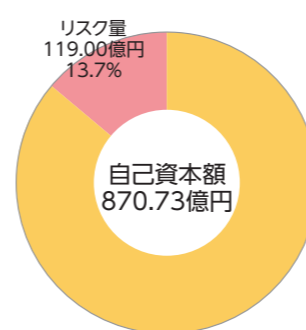
●システムリスク

システムリスクとは、コンピュータシステムの停止や誤作動により損失を被るリスクや、コンピュータが不正に使用されることにより損失を被るリスクをいいます。当金庫では「信金共同事務センター」に加盟してシステムリスクへの対応を図っているほか、「情報資産保護に関する基本方針(セキュリティポリシー)」を定め、お客さまのデータ保護等に関する管理態勢の充実にも努めています。

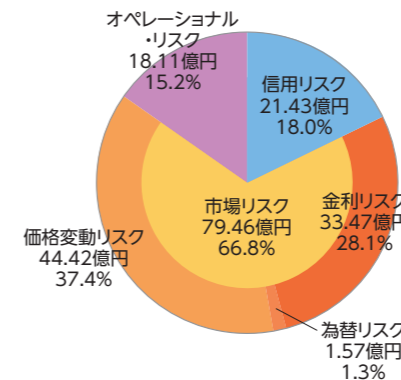
◎自己資本額(経営体力)とリスク量

平成30年3月末における各リスクのリスク量を統計的な手法等で算出した結果、合計で11,900百万円となりました。これは、当金庫の単体自己資本額87,073百万円に対し13.7%の割合になり、リスクに対する自己資本の準備は十分であるといえます。

■自己資本額のリスク量



■リスク項目の比率



リスク計測手法

【信用リスク】モンテカルロシミュレーションによるVaR[®]。信頼区間99%。
 【市場リスク】分散共分散法によるVaR[®]。保有期間3ヵ月(満期保有については6ヵ月)。信頼区間99%。観測期間1年
 (注1) VaR算出対象外商品によるリスク量及び有価証券における信用スプレッド・投資残差については価格変動リスクに含めて記載してあります。
 【オペレーショナル・リスク】新BIS規制基礎的手法 ※VaR(バリュー・アット・リスク)過去のデータに基づいて、将来の一定期間に一定の確率のもとで、保有資産が被る可能性がある最大損失額をいいます。
 (注2) 左記リスク量は、【資料編】25ページの「金利リスクに関する事項」と計測方法が異なります。

コンプライアンス態勢

当金庫では、「コンプライアンス」を経営の最重要課題と位置付け、態勢の充実に向けコンプライアンスの徹底を図っています。

コンプライアンスの基本方針(三島信用金庫行動綱領)

信用金庫の社会的使命と公共性の自覚と責任

1. 信用金庫のもつ社会的責任と公共的使命を常に自覚し、責任ある健全な業務運営の遂行に努める。

質の高い金融等サービスの提供と地域社会発展への貢献

2. 経済活動を支えるインフラとしての機能はもとより、創意と工夫を活かし、お客さまのニーズに応えるとともに、セキュリティレベルの向上や災害時の業務継続確保などお客さまの利益の適切な保護にも十分配慮した質の高い金融および非金融サービスの提供等を通じて、地域経済・地域社会の発展に貢献する。

法令やルールの厳格な遵守

3. あらゆる法令やルールを厳格に遵守し、社会的規範に決してもとることのない、誠実かつ公正な業務運営を遂行する。

地域社会とのコミュニケーション

4. 経営等の情報の積極的かつ公正な開示をはじめとして、広く地域社会とのコミュニケーションの充実を図る。

従業員の人権の尊重等

5. 従業員の人権、個性を尊重するとともに、安全で働きやすい環境を確保する。

環境問題への取り組み

6. 資源の効率的な利用や廃棄物の削減を実践するとともに、環境保全に寄与する金融サービスを提供するなど、環境問題に積極的に取り組む。

社会貢献活動への取り組み

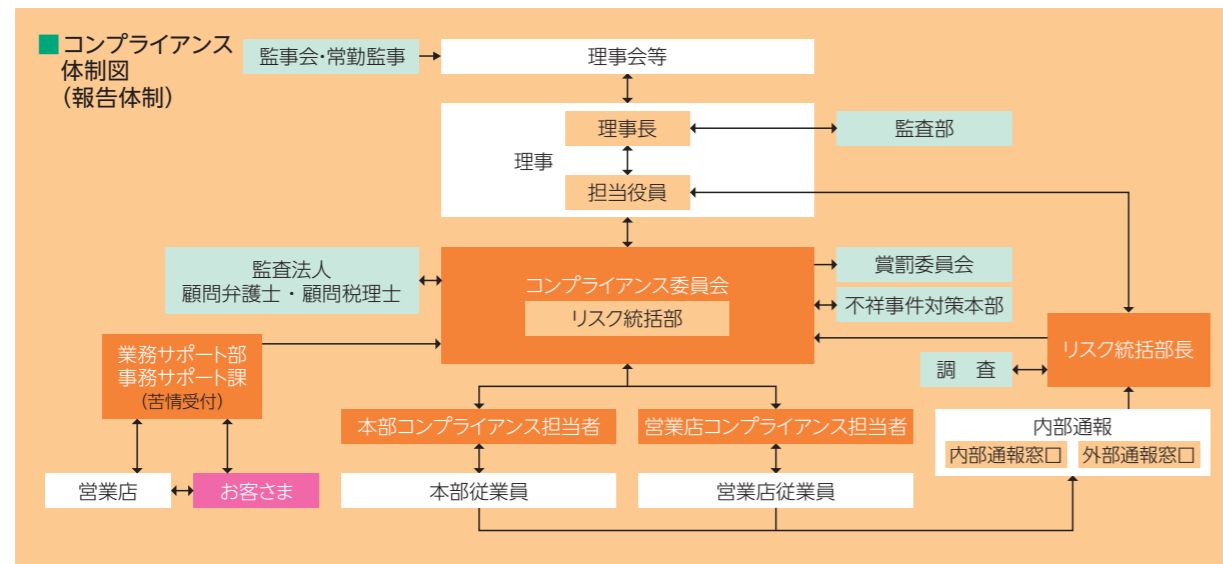
7. 信用金庫が社会の中においてこそ存続・発展し得る存在であることを自覚し、社会とともに歩む「良き企業市民」として、積極的に社会貢献活動に取り組む。

反社会的勢力との関係遮断

8. 社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力は、これを断固として排除し、関係遮断を徹底する。

◎内部通報窓口と外部通報窓口の設置

当金庫は、金庫内での不正行為や法令違反行為などの発生またはその恐れのある状況を知った役職員等が直接通報することができる内部通報窓口と外部通報窓口(専門会社と契約)を設置しています。両窓口で受け付けた通報に対して、通報者を保護したうえで、十分な調査・検討を行い、適切に処理しています。



内部監査態勢

すべての業務部門から独立した監査部は、内部管理態勢を検証、評価する組織として設置され、内部監査を実施しています。監査部では、すべての金庫業務の内部管理態勢の適切性、有効性を検証しており、健全性の確保と経営効率の向上を図り、当金庫の発展に寄与することを目的として、問題点の発見にとどまらず、その評価および改善方法の提言等にも取り組んでいます。

また、外部監査人との連携、情報交換を実施し、内部監査の実効性の向上に努めています。その中で、決算関係書類については監査法人による監査を受けています。

信用金庫法施行規則に基づく開示項目

【単体情報】

(信用金庫法施行規則第132条等における規定)

1. 金庫の概況及び組織に関する事項
 - (1) 事業の組織 29
 - (2) 理事及び監事の氏名及び役職名 29
 - (3) 会計監査人の氏名又は名称 [資料編] 5
 - (4) 事務所の名称及び所在地 27
2. 金庫の主要な事業の内容 21
3. 金庫の主要な事業に関する事項
 - (1) 直近の事業年度における事業の概況 21~22
 - (2) 直近の5事業年度における主要な事業の状況 21
 - ① 経常収益
 - ② 経常利益又は経常損失
 - ③ 当期純利益又は当期純損失
 - ④ 出資総額及び出資総口数
 - ⑤ 純資産額
 - ⑥ 総資産額
 - ⑦ 預金積金残高
 - ⑧ 貸出金残高
 - ⑨ 有価証券残高
 - ⑩ 単体自己資本比率
 - ⑪ 出資に対する配当金
 - ⑫ 職員数
 - (3) 直近の2事業年度における事業の状況
 - ① 主要な業務の状況を示す指標 [資料編] 6~7
 - ② 預金に関する指標 [資料編] 10
 - ③ 貸出金等に関する指標 [資料編] 6、11~12
 - ④ 有価証券に関する指標 [資料編] 6、13
4. 金庫の事業の運営に関する事項
 - (1) リスク管理の体制 35~36
 - (2) 法令遵守の体制 37
 - (3) 中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取り組みの状況 3~10
 - (4) 金融ADR制度への対応 31
5. 金庫の直近の2事業年度における財産の状況に関する事項
 - (1) 貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分計算書 [資料編] 2~5
 - (2) 貸出金のうち次に掲げるものの額及びその合計額 [資料編] 9
 - ① 破綻先債権に該当する貸出金
 - ② 延滞債権に該当する貸出金
 - ③ 3か月以上延滞債権に該当する貸出金
 - ④ 貸出条件緩和債権に該当する貸出金
 - (3) 自己資本の充実の状況 [資料編] 16~25
 - ① 自己資本の構成に関する事項
 - ② 定性的な開示事項
 - ③ 定量的な開示事項
 - (4) 次に掲げるものに関する取得価額又は契約価額、時価及び評価損益 [資料編] 14~15
 - ① 有価証券
 - ② 金銭の信託
 - ③ 規則第102条第1項第5号に掲げる取引

- (5) 貸倒引当金の期末残高及び期中の増減額 [資料編] 12
 - (6) 貸出金償却の額 [資料編] 12
 - (7) 会計監査人の監査を受けている旨 [資料編] 5
6. 役職員の報酬に関する事項 [資料編] 8

【連結情報】

(信用金庫法施行規則第133条等における規定)

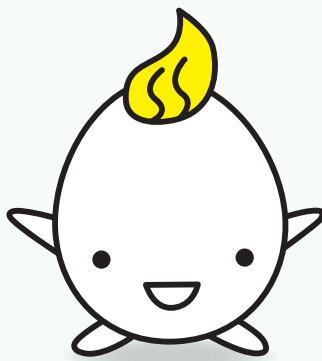
1. 金庫及びその子会社等の概況に関する事項
 - (1) 金庫及びその子会社等の主要な事業の内容及び組織の構成 [資料編] 8
 - (2) 金庫の子会社等に関する事項 [資料編] 8
2. 金庫及びその子会社等の直近2連結会計年度における財産の状況 [資料編] 8
 - (1) 自己資本の充実の状況 [資料編] 17~25
 - ① 自己資本の構成に関する事項
 - ② 定性的な開示事項
 - ③ 定量的な開示事項

金融再生法に基づく債権の開示

1. 金融再生法開示債権額 [資料編] 9

任意開示項目

1. 概況及び組織
 - (1) 経営方針 1
 - 総代会制度 33~34
 - (2) 職員の状況 29
 - (3) 店舗外キャッシュコーナー 28
 - (4) 会員数 29
 - (5) 経費の内訳 [資料編] 7
 - (6) 退職給付会計 [資料編] 15
2. 預金業務
 - (1) 預金者別預金残高 [資料編] 10
3. 貸出業務
 - (1) 消費者ローン・住宅ローン残高 [資料編] 11
4. 証券業務
 - (1) 公共債引受額 [資料編] 13
 - (2) 公共債窓口販売実績 [資料編] 13
 - (3) 公共債ディーリング実績 [資料編] 13
5. その他業務
 - (1) 代理貸付残高の内訳 [資料編] 12
 - (2) 外国為替取扱高 [資料編] 10
 - (3) 外貨建資産・負債残高 [資料編] 10
 - (4) 内国為替取扱実績 [資料編] 10
6. 商品案内
 - (1) 商品・サービスのご案内 23~26
 - (2) その他のトピックス 3~17
7. その他
 - さんしんのあゆみ 30



各種お問い合わせ先

ご意見、ご要望等

フリーダイヤル ☎ 0120-775-501

お客さま相談窓口

受付 9:00~17:00 (土・日・祝日、12月31日~1月3日を除きます)

はがき

お客さまご意見カードを各営業店舗にご用意しています

インターネット

さんしんホームページ <http://mishima-shinkin.co.jp/>

商品に関するお問い合わせ

フリーダイヤル ☎ 0120-608-386

受付 9:00~17:00 (土・日・祝日、12月31日~1月3日を除きます)

インターネットバンキングに関するお問い合わせ

フリーダイヤル ☎ 0120-340-030

受付 9:00~17:00 (土・日・祝日、12月31日~1月3日を除きます)

でんさいネットに関するお問い合わせ

フリーダイヤル ☎ 0120-348-911

受付 9:00~17:00 (土・日・祝日、12月31日~1月3日を除きます)



本部：〒411-8651 静岡県駿東郡長泉町下土狩96番地の3 本誌のお問い合わせ先：経営企画部 ☎055-973-5721